

平成 28 年度

佐渡市教育委員会

佐渡学センター一年報

第 8 号

佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

刊行にあたって

巻 頭

佐渡学センター所長 高藤一郎平

一年間大変お世話になりました。

平素から、佐渡市内の博物館関係施設の運営、管理などにご協力いただきましてありがとうございます。日々の仕事が、市民の皆さんの支えで進んでいることを実感しています。

本年度は佐渡学センターの組織変更がありました。

佐渡市発足早々からの懸案であった「佐渡市文化振興財団」を発足するための布陣として、佐渡学センターでは文化学芸係、文化振興係の体制を敷き、学芸係は主に博物館関係施設の管理・運営を担当し、振興係が財団発足準備と文化イベントを担当するという二本柱が動き始めました。

佐渡博物館では、ペットボトルアート「朱鷺の舞う佐渡の自然」という特別展を開催しました。作者の本間ますみさんは八幡の出身で、すでに母校の八幡小学校で児童・父兄にワークショップの指導を数回実施していました。私にとっては八幡小学校に展示してある作品を見たことが初めての出会いでした。本間さんから制作の様子をお聞きし、八幡の人たちとの一体感に感激し、この特別展が開催できました。

本間さんのアートが世界的なものであることなどは後に知ることになりますが、まだ新しい分野なので「どんな作品なんだろう？ 展覧会の内容が想像できない」という現実にも直面し、事前の広報の未熟さを反省するとともに、地方博物館活動のあるべき一面を発信できた意義ある特別展でした。

また、本館裏に移築されていた茅葺の民家「旧浅島家住宅」の屋根修理工事が始まりました。老朽化や住宅改善など、時代の趨勢で姿を消しつつある伝統的な茅葺き屋根の農家住宅です。どのように活用するのか、そのためにはどのような修理や改善が必要なのか。建物が持つ個性を尊重し皆さんに親しまれる施設造りを目指します。

一方、文化振興活動の分野でも力強い活動が封切られたと思っています。

10月2日に「佐渡民謡の祝祭」がデビューしました。この事業は文化庁からの補助対象となり「民謡を未来へ継承する」ということを目的にして継続する計画です。

今までには無いほどの多くの民謡団体から参加いただき、会場の佐渡奉行所を埋め尽くす観客の皆様と一体となった「ぞめき」の世界が堪能できました。祝祭実行の大きな目的である、「伝える」というテーマに対して、七浦小学校、羽茂高校の皆さんから十二分に覚えていただくことが出来ました。本当にありがとうございました。

言葉が足りませんが、これらの活動が皆さんのご協力をいただきながら、さらに発展することを願って巻頭といたします。

目 次

刊行にあたって

I.	佐渡学センター設置までの経緯	1
II.	管理運営の状況	5
III.	文化庁補助事業	21
IV.	佐渡学センター事業報告	
	1. 展示事業	22
	2. 収集保管事業	30
	3. 調査研究事業	31
	4. 普及教育事業	32
	5. 支援・助成事業	73
	6. 連携事業	73
	7. イベント（共催事業）	74
	8. 刊行物	74
V.	関係団体	76
VI.	日誌抄	77

I. 佐渡学センター設置までの経緯

沿 革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設置することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津

の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤 一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 継仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように努めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦

主 事 滝川 邦彦
研究員補助 八木 千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

＜重点施策＞

○伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存・継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。

○伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。

○地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 事 山口 忠明
主 事 宇治 美徳
主 事 須藤 洋行
主 事 滝川 邦彦

【平成 22 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の

刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 事 山口 忠明
主 事 須藤 洋行
主 事 滝川 邦彦

【平成 23 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠
次 長 本間 俊一郎
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 任 滝川 邦彦
主 任 須藤 洋行
主 事 山口 忠明
雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 24 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の

刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 本間 俊一郎

学芸専門員 北見 継仁

情報指導員 池田 雄彦

文化・学芸係長 野口 敏樹

主 任 滝川 邦彦

主 任 須藤 洋行

主 事 山口 忠明

雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 25 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○行政改革における施設の統廃合が急務であり、博物館・資料館の管理体制の見直しを図る。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 藤井 甚栄

学芸専門員 北見 継仁

情報指導員 池田 雄彦

主 任 滝川 邦彦

主 任 須藤 洋行

主 事 山口 忠明

雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 26 年度】

＜重点施策＞

○施設（博物館・資料館）における収蔵品の保存・活用や指定文化財等の保管管理の徹底と収蔵資料のデータベース化を推進する。

○行政改革における施設の統廃合を推し進め、博物館・資料館の今後の管理体制の見直し、効率的に運営を図る。

○佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用、市民にとって親しみやすい博物館づくりに努める。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 藤井 甚栄

情報指導員 池田 雄彦

主 任 中川 扇美

主 任 滝川 邦彦

主 任 山口 忠明

主 事 中川 優子

主 事 小田 和也

雇 員 本間 裕亨（研究補助員）

雇 員 伊藤 文恵（佐渡博物館）

雇 員 本間 裕徳

（相川郷土博物館金泉収蔵庫）

【平成 27 年度】

＜重点施策＞

○ 各施設（博物館・資料館）における資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。

○ 佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。

○ 佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用と市民にとって親しみやすい博物館づくりを目指した佐渡博物館活用計画を策定する。

所長 高藤 一郎平

次長 深野 まゆ子

主任	中川	扇美	
主任	滝川	邦彦	
主事	中川	優子	
主事	小田	和也	
雇員	本間	裕徳	(佐渡博物館)
雇員	伊藤	文恵	(佐渡博物館)
雇員	荒貴	泰斗	(佐渡博物館)

Ⅱ．管理運営の状況

【平成 28 年度 佐渡学センター運営方針】

- 佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。
- 各施設の資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。
- 佐渡の歴史文化資源の保存の観点から、伝統芸能の活性化につながる事業を実施し、その魅力の再発見と団体間の連携につなげる。

【博物館・資料館運営方針】

＜重点施策＞

- 佐渡博物館中庭に移築された旧浅島家の修繕工事を実施するとともに、改修後の活用方法を佐渡市博物館協議会の部会の中で検討し、郷土愛の醸成につなげる。

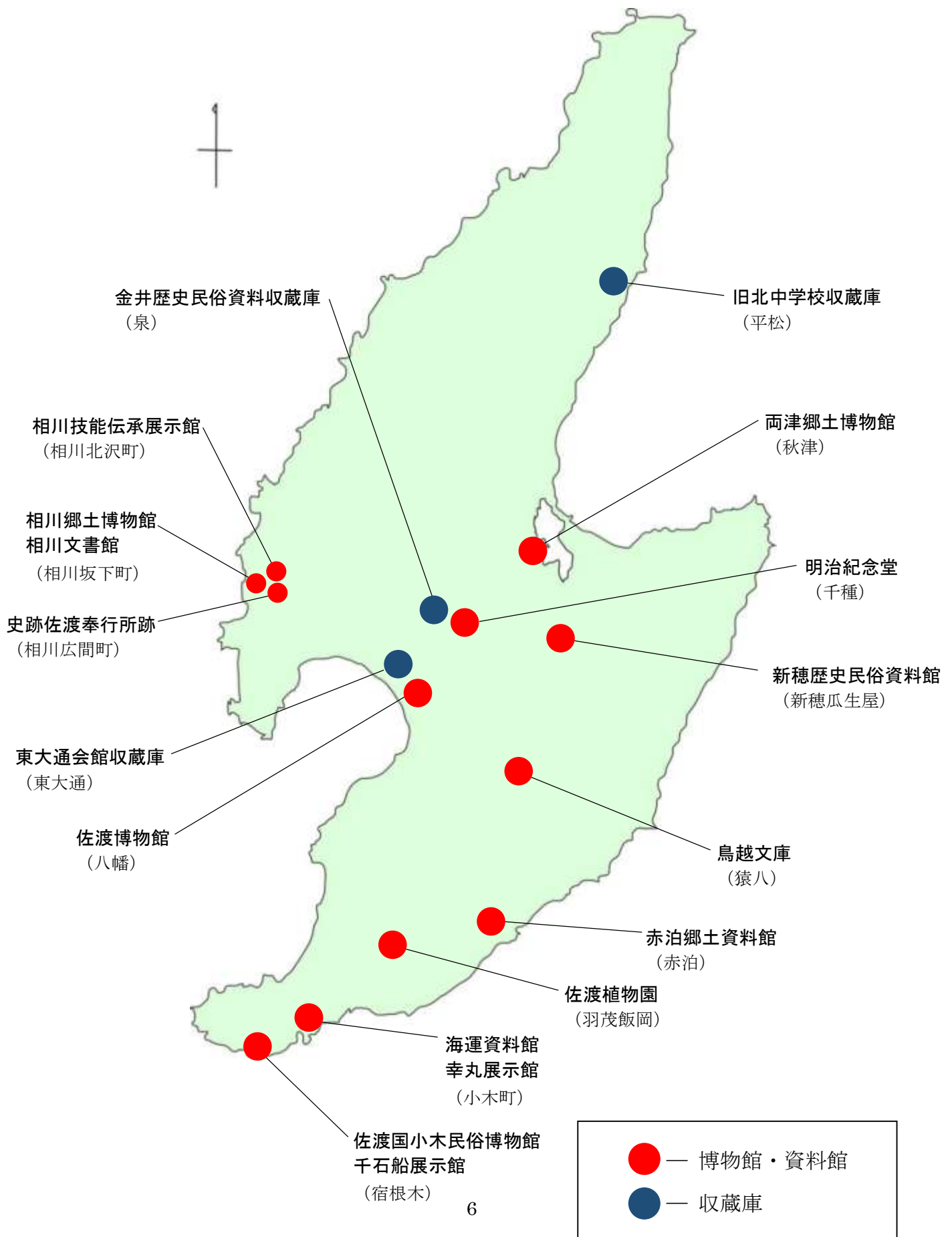
＜運営方針＞

- 佐渡金銀山に関連した歴史や文化をもつ小学校を対象に、郷土を学ぶ機会を提供し、郷土愛の醸成につなげる。
- 佐渡市小学校研究会社会科部が製作した教材により、博物館の展示内容が子どもたちに楽しみながら理解されるよう活用する。
- 伝統文化等保存支援事業（補助事業）
佐渡島内に伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体の活動に対し補助事業を実施、伝統文化の保存・伝承・活用を図る。
- 佐渡の歴史・文化・自然等に関するレファレンス業務の推進を図る。
- 博物館・資料館管理の徹底を図る。
- 博物館の企画展示の計画的な開催を目指す。
- 博物館への多様なニーズに対応し、学校教育や大学・世界遺産・ジオパーク・GIAHS の政策と連携を図りながら資料展示の充実を図る。

【組織】

所長	高藤	一郎平	
次長	深野	まゆ子	
係長	本間	克彦	
主任	土屋	仁	
主任	鶴間	基宏	
主任	滝川	邦彦	
主事	中川	優子	
主事	関根	吉則	
主事	小田	和也	
雇員	本間	裕徳	（佐渡博物館）
雇員	伊藤	文恵	（佐渡博物館）
雇員	山本	佳奈	（佐渡博物館）
雇員	宇田	美智子	（相川郷土博物館）
雇員	小林	尚子	（相川郷土博物館）
雇員	荒貴	泰斗	（相川郷土博物館）
雇員	佐々木	妙子	（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	和泉	めぐみ	（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	岩崎	千代美	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	山川	由紀江	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	中川	宏太	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	水上	祐子	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	河村	厚子	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	萩田	裕子	（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	山本	加奈子	（相川技能伝承展示館）
雇員	佐々木	さゆり	（相川技能伝承展示館）
雇員	山本	悦子	（相川技能伝承展示館）
雇員	小杉	栄枝	（相川技能伝承展示館）
雇員	寺尾	フジ子	（相川技能伝承展示館）

佐渡市立博物館・資料館・収蔵庫など



施設の状況等

【佐渡博物館】

開館年度 昭和 32 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市八幡 2041 番地

敷地面積 6,647.9 m²

建物総面積 1,632.05 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

展示室 856.16 m²

収蔵庫 107.79 m²

図書室 25.69 m²

会議室 33.77 m²

事務室 67.96 m²

その他 540.68 m²

駐車場 大型バス 3 台・普通車 20 台

<総事業費>

不明

備考 平成 25 年 11 月 30 日までは財団法人の運営。平成 26 年 4 月 1 日から佐渡市が運営している。

【両津郷土博物館】

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和 56 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市秋津 1596 番地

敷地面積 49,590 m²

建築面積 1,373.59 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

地下 1 階

駐車場 約 50 台

<総事業費>

515,912 千円

備考 来館時は予約が必要。

【相川郷土博物館】

事業名 相川小学校 80 周年記念事業

開館年度 昭和 31 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

敷地面積 (総面積) 3,150 m²

建築面積 (総面積) 1,055.16 m²

構造・階数 木造平屋建 (一部 2 階建)

御料局佐渡支庁跡 (2 階建) 172.24 m²

展示室 (1 階) 244.89 m²

特別展示室・準備室 84.60 m²

事務室・その他 117.19 m²

有田八郎記念館 116.76 m²

収蔵庫 198.00 m²

名誉町民資料館 55.48 m²

駐車場 相川技能伝承展示館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

不明

備考 明治 22 年建築。相川小学校 80 周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和 31 年 7 月に開館した。

【相川文書館】

建設年度 昭和 51 年度 (移築)



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66 m²

構造・階数 木造平屋建

駐車場 相川技能伝承展示館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

移築費 4,000 千円

備考 大正 2 年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和 51 年に相川文書館として現在の場所に移築された。

【相川技能伝承展示館】

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和 60～61 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川北沢町 2 番地

敷地面積 2,271 m²

建築面積 712.17 m²

構造・階数 鉄筋平屋建 (一部 2 階建)

陶芸実習室 109.31 m²

裂織り実習室 93.57 m²

資料展示室 109.31 m²

窯小屋・登り窯 49.68 m²

工房 102.69 m²

ホール 137.75 m²

事務室・その他 109.86 m²

駐車場 相川郷土博物館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

81,532 千円

【史跡佐渡奉行所跡】

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成 7～18 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川広間町 1 番地 1

敷地面積 18,542 m²

建築面積 1,541.6 m²

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7 m²

御役所 990.0 m²

御門番所 32.0 m²

御普請方役所 140.4 m²

勝場 344.5 m²

駐車場 大型バス 3 台、普通車 約 20 台

＜総事業費＞

2,387,984 千円

【佐渡国小木民俗博物館（旧館）】

開館年度 昭和 47 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

敷地面積 (総面積) 11,192 m²

(旧館) 9,868.96 m²

延床面積 2,930 m²

構造・階数 木造平屋建

駐車場 10 台

＜総事業費＞

19 万円

備考 大正 9 年に建てられた木造校舎をそのまま利用し、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。

【佐渡国小木民俗博物館（新館）】

事業名 農村地域農業構造改善事業

(自然活用型)

建設年度 昭和 56～59 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

建築面積 627.52 ㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建

駐車場 旧館と共用 10 台

＜総事業費＞

87,194 千円

【千石船展示館】

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業

建設年度 平成 8～9 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

建築面積 695.52 ㎡

構造・階数 木造平屋建

＜総事業費＞

135,366 千円

【海運資料館】

事業名 離島開発総合センター建設事業

建設年度 昭和 54～55 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市小木町 1941 番地 1

(南佐渡離島開発総合センター内の 2 階)

敷地面積 1,428 ㎡

建築面積 1,616.13 ㎡

延床面積 500 ㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート 3 階建
(一部中 4 階)

駐車場 10 台

＜総事業費＞

236,199 千円

備考 平成 22 年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

【幸丸展示館】

事業名 日本宝くじ協会助成事業
町づくり特別対策事業
建設年度 昭和 59 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市小木町 1941 番地 1
敷地面積 1,837 m²
建築面積 303.65 m²
延床面積 206 m²
構造・階数 鉄筋造り 1 棟
駐車場 10 台

<総事業費>

52,000 千円

【佐渡植物園】

建設年度 昭和 23 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市羽茂飯岡 550 番地 6

敷地面積 59,671 m²
(総面積 65,040 m²)

建築面積

管理棟 35 m²
作業棟 19.87 m²
温室 58.32 m²
延床面積 55 m²

構造・階数 鉄筋造り 1 棟

<総事業費>

不明

【新穂歴史民俗資料館】

建設年度 昭和 62 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市新穂瓜生屋 492
敷地面積 2,348 m²
建築面積 922 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造り 2 階建
駐車場 41 台

<総事業費>

250,094 千円

【金井歴史民俗資料収蔵庫】

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金（国）
文化保存事業費補助金（県）

建設年度 昭和 50 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市泉甲 375 番地 1

敷地面積 約 2,000 m²

建築面積

収蔵庫 144 m²

展示館 136 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造り平屋建

<総事業費>

15,010 千円

【明治記念堂（開導館）】

建設年度 明治 35 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市千種丙 154 番地

敷地面積 1,055.2 m²

建築面積 72.24 m²

構造・階数 木造平屋建

<総事業費>

明治記念堂 不明

開導館 4,100 千円（昭和 50 年復元）

【赤泊郷土資料館】



<施設概要>

所在地 佐渡市赤泊 2458 番地

（赤泊総合文化会館内）

敷地面積 33,000 m²

建築面積 1,184 m²

延床面積 3,260 m²（うち志長官 約 650 m²）

構造・階数 鉄筋コンクリート 4 階建

（資料館は 1 階及び 2 階の一部）

駐車場 30 台

<総事業費>

727,885 千円（資料館のみでは不明）

3 平成28年度 入館者の状況

	佐渡博物館	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	398	0	146	137	887	1,050	75	160	0	9	240	2,862
5月	977	18	294	292	2,360	2,755	219	318	1	34	381	7,268
6月	867	5	2,421	2,885	4,723	2,479	98	310	0	54	300	13,842
7月	1,447	1	644	803	2,398	3,108	118	690	0	44	433	9,253
8月	2,362	9	442	563	3,217	3,904	246	636	0	58	310	11,437
9月	1,530	1	780	800	2,512	2,165	171	696	0	17	240	8,672
10月	1,764	4	204	93	3,255	1,968	106	958	0	84	362	8,436
11月	537	60	164	58	919	738	39	180	0	7	240	2,702
12月	187	3	19	15	129	102	10	0	0	5	62	470
1月	133	13	5	11	45	55	5	0	0	27	62	294
2月	166	76	3	20	78	82	6	49	0	15	56	495
3月	418	45	86	51	668	387	44	311	0	3	451	2,013
入館者 年度計	10,786	235	5,208	5,728	21,191	18,793	1,137	4,308	1	357	3,137	67,744

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

平成 16年度	(20,225)	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
17年度	(20,031)	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
18年度	(16,248)	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
19年度	(14,417)	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
20年度	(13,470)	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,460	3,445	123	282		55,362
21年度	(12,621)	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	(4,360)	58,980
22年度	(10,566)	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	(3,650)	56,886
23年度	(10,072)	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	(2,830)	56,749
24年度	(10,660)	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	(2,860)	57,278
25年度	(8,492)	2,212	6,055	6,207	18,568	16,624	1,157	2,693	0	308	(3,230)	53,824
26年度	10,906	239	5,547	5,511	20,445	19,198	1,224	2,315	0	396	(2,840)	65,781
27年度	9,656	261	4,893	5,689	19,878	21,777	1,227	3,183	0	266	(3,067)	66,830
28年度	10,786	235	5,208	5,728	21,191	18,793	1,137	4,308	1	357	(3,137)	67,744

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

※平成21年度以降は、入館者数に無料入館者を含む（佐渡博物館は26年度より含む）

団体・視察受入れ状況

【佐渡博物館】

(◆) は島内の保育園・小中学校

月日	団体・視察者名	人数
4月11日	◆加茂小学校（下見）	2
13日	世界遺産推進課・文化庁（視察）	11
15日	◆真野小学校	4
	新着任教員講座	46
23日	世界遺産推進課（視察）	17
	地域振興局職員	11
5月2日	昭和女子大学（下見）	1
	◆八幡小学校（下見）	1
6日	◆加茂小学校	30
	◆両津小学校	13
	◆河崎小学校（下見）	3
9日	◆八幡小学校	18
10日	◆八幡小学校	11
18日	あすなろ教室	8
26日	◆赤泊中学校	17
27日	◆河崎小学校	21
6月2日	矢代田小学校	49
8日	東山の下小学校	26
15日	桃山小学校	14
16日	◆羽茂小学校	29
	◆八幡小学校	9
	三用小学校	11
22日	特別支援学校（下見）	1
28日	◆佐和田中学校	58
7月1日	高齢福祉課	4
4日	◆真野小学校	44
7日	◆八幡小学校	70
8日	◆特別支援学校	20
9日	◆河原田小学校	25
	学校教育課	16
22日	奈良文化研究所	1
	国分寺市議会	10
24日	伝統文化と環境福祉の専門学校	12
29日	◆二宮小学校（下見）	5
31日	伝統文化と環境福祉の専門学校	10
8月4日	世界遺産推進課・文化庁（視察）	3
7日	伝統文化と環境福祉の専門学校	15
28日	伝統文化と環境福祉の専門学校	12
9月2日	◆畑野小学校	30

6日	◆二宮小学校	79
11日	桜畑組合	13
13日	世界遺産推進課（視察）	6
15日	◆さわた幼稚園	11
18日	伝統文化と環境福祉の専門学校	10
22日	◆河原田小学校（下見）	1
23日	地域文化学会	13
26日	東武トップツアーズ	28
30日	◆金井小学校	52
10月4日	◆吉井保育園	46
	◆新保保育園	45
7日	◆畑野保育園	34
12日	大正大学地域創生学部	8
13日	◆河原田保育園	88
14日	校長会 OB 会	8
19日	両津地区公民館	21
21日	赤泊公民館	35
	◆八幡保育園	47
30日	両津原黒地区	46
	新穂瓜生屋地区	36
11月4日	中国領事館	17
5日	佐渡ジオパーク市民講座中級コース	24
27日	両津羽二生地区	21
12月12日	世界遺産推進課（視察）	7
16日	糸魚川ジオパーク	3
2月28日	宿根木調査チーム	9
3月6日	ジオパーク関係者	4
8日	◆沢根保育園	35
	合計	1,435

【両津郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
5月31日	◆河崎小学校	13
11月6日	新潟県民具学会事務局	8
11月18日	◆金井小学校	52
1月31日	◆河崎小学校	13
2月10日	◆両尾小学校	11
2月17日	◆金井小学校	32
24日	◆金井小学校	33

3月2日	◆畑野小学校	29
		合計 191

【相川郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
4月23日	◆新穂中学校	5
26日	◆金井小学校	29
28日	平林小学校／伊米ヶ崎小学校	47
5月13日	南小学校	18
20日	須原小学校	23
26日	◆赤泊中学校	16
	千田小学校	15
31日	大崎小学校	37
6月1日	出雲崎小学校／京ヶ瀬小学校	62
2日	山潟小学校／燕東小学校／飯田小学校／胎内小学校／瀬波小学校	216
3日	新関小学校／月岡小学校／赤塚小学校／神納小学校	92
4日	笹岡小学校	40
6日	紫竹山小学校	53
7日	新津第二小学校／分田小学校／坂井輪小学校	124
8日	早通小学校／東山の下小学校／水原小学校／片貝小学校／荻川小学校／黒川小学校	200
9日	和納小学校／関原小学校／月岡小学校／中条小学校／大野小学校／真砂小学校	255
10日	阿賀小学校／丸山小学校／神山小学校	92
13日	東小千谷小学校／三条小学校	58
14日	大蒲原小学校／大巻小学校／小出小学校／松浜小学校	146
15日	新組小学校／関屋小学校／桃山小学校／蓮野小学校	155
16日	山倉小学校／上山小学校／御免町小学校／亀田東小学校／安野小学校／山辺里小学校	290
	◆両尾中学校（1年生）	16
17日	中之島小学校／潟東小学校／加治川小学校／上小国小学校／新通小学校／五十沢小学校	212
18日	小合小学校	12
21日	巻北小学校	33

22日	二葉小学校／五泉小学校／豊田小学校／横越小学校	159
23日	亀田小学校／三川小学校／青山小学校／新津第一小学校／中島小学校／第二上田小学校	211
24日	竹尾小学校／赤石小学校／藤塚小学校／保内小学校／曾野木小学校	197
29日	猿橋小学校	37
30日	浦佐小学校／東曾野木小学校／内野小学校／立仏小学校／岩船小学校	162
7月1日	鹿瀬小学校／栢窪小学校	22
5日	富曾亀小学校	33
6日	堀之内小学校／新道小学校	128
7日	上所小学校／万代長嶺小学校／五泉南小学校／大形小学校	195
8日	津川小学校／日和山小学校	83
13日	満日小学校	8
14日	栖吉小学校／村上小学校	63
15日	柿小学校	24
20日	川口小学校	39
22日	下川西小学校	9
8月22日	大発見ふるさと新潟相川探訪	55
31日	内郷小学校／二田小学校	46
9月1日	東小学校／愛宕小学校	65
7日	水沢小学校	32
8日	下条小学校／新潟小学校／五泉東小学校	154
9日	大通小学校／山の下小学校	102
15日	田尻小学校	82
16日	大淵小学校／両川小学校／田沢小学校	77
	◆内海府小学校	15
29日	千手小学校／橘小学校／上野小学校	52
10月5日	◆河原田小学校	23
14日	校長会 OB 会	9
11月5日	新潟県民具学会	8
8日	◆さわた幼稚園	14
12月1日	◆相川小学校探検クラブ	10
		合計 4,360

【史跡佐渡奉行所跡】

月日	団体・視察者名	人数
4月15日	世界遺産推進課（視察）	6
21日	◆南佐渡中学校	41
22日	◆高千中学校	17
23日	◆新穂中学校	15
25日	◆内海府中学校	4
26日	◆金井小学校	27
28日	伊米ヶ崎小学校	24
	平林砂山連合小学校	32
5月7日	世界遺産推進課（視察）	5
18日	佐渡汽船観光研修	5
24日	◆相川小学校	21
25日	佐渡汽船観光研修	5
26日	◆赤泊中学校	16
27日	和泉小学校	22
31日	大崎小学校	39
6月1日	下山小学校	105
	京ヶ瀬小学校	57
2日	木山小学校	14
	旭小学校	12
	大島小学校	19
	瀬波小学校	12
	下田地区連合小学校	26
3日	神納小学校	12
	新関小学校	10
	金屋小学校	20
4日	新穂、北方自治会	25
6日	世界遺産推進課（視察）	14
7日	分水北小学校	34
	笹山小学校	13
8日	木崎小学校	75
	宇賀地小学校	18
	山田小学校	74
	東山之下小学校	61
	関原小学校	95
	片貝小学校	40
	牡丹山小学校	21
9日	片野尾老人クラブ	21
	本田小学校	13
	吉田小学校	46
	越前小学校	10
10日	月岡小学校	73
	保田小学校	67

	栄小学校	44
	西神納小学校	16
11日	姉妹都市（入間市）	32
13日	三条小学校	22
14日	小出小学校	92
15日	結小学校	101
	山倉小学校	68
	佐々木小学校	27
	岡南地区連合小学校	46
	桃山小学校	44
16日	◆両尾小学校	34
	東青山小学校	92
	上山小学校	62
	◆両尾小学校	16
	上小国小学校	11
	古城小学校	12
	村松小学校	73
17日	明治小学校	20
	亀田東小学校	139
	田上小学校	47
	洩海小学校	13
	宮内小学校	91
	新通小学校	40
18日	五十沢小学校	33
	新飯田小学校	21
21日	豊田小学校	80
22日	横越小学校	38
	糸魚川小学校	75
	亀田小学校	38
23日	青山小学校	47
	早通南小学校	107
	新津第一小学校	30
23日	赤石小学校	23
	塩沢小学校	15
	庄瀬小学校	19
24日	朝日みどり小学校	14
	太田小学校	27
	小林小学校	36
	保内小学校	51
	藤塚小学校	18
	枇杷島小学校	54
29日	柏崎小学校	78
	黒田小学校	32
30日	東曽野木小学校	46

	入広瀬小学校	15
	高柳小学校	16
	三郷小学校	9
	内野小学校	31
	中野山小学校	30
7月1日	吉日小学校	118
	北辰小学校	57
2日	島人タスキリレー（入間市）	14
5日	大豆島小学校	139
6日	世界遺産推進課（視察）	5
7日	保倉小学校	18
	上所小学校	47
	五泉南小学校	24
8日	産業振興課	5
	国際大学留学生	45
13日	共和小学校	56
14日	◆相川小学校	8
	栖吉小学校	46
22日	下川西小学校	12
8月1日	ことぶき講座	20
5日	文化庁（視察）	7
6日	春日居・相川ふれあい事業	94
21日	世界遺産推進課（視察）	20
22日	生涯学習協会	53
9月2日	刈羽小学校	41
8日	下条小学校	26
9日	巢本小学校	24
10日	世界遺産推進課講演会	55
15日	世界遺産推進課講演会	7
16日	◆内海府小学校	8
	西川小学校	27
	大渕小学校	17
18日	世界遺産推進課（視察）	4
25日	地域振興課（視察）	12
28日	◆佐渡中等教育学校	25
10月2日	佐渡民謡の祝祭	1110
5日	◆河原田小学校	23
17日	産業振興課（大正大学）	3
25日	世界遺産推進課（視察）	19
30日	立教大学（会議使用）	13
11月3日	佐渡国草の会	20
5日	お茶会（淡交会）	67
9日	文化庁視察	3
2月9日	世界遺産推進課（視察）	6

15日	観光振興課（視察）	7
3月2日	羽茂支所	80
11日	畑野支所	15
17日	社会教育課（視察）	4
19日	お茶会（淡交会）	188
23日	観光振興課（視察）	4
合計 5,987		

【相川技能伝承展示館】

月日	団体・視察者名	人数
4月21日	◆南佐渡中学校	37
28日	平林小学校	26
	伊米ヶ崎小学校	21
5月6日	◆加茂小学校	38
13日	南小学校	18
17日	日本自然環境専門学校	27
20日	須原小学校	23
26日	千田小学校	15
31日	大崎小学校	37
6月1日	出雲崎小学校	33
	京ヶ瀬小学校	29
2日	山潟小学校	74
	燕東小学校	41
	飯田小学校	12
	胎内小学校	55
	瀬波小学校	34
3日	新関小学校	10
	月潟小学校	23
	赤塚小学校	47
	神納小学校	12
4日	笹岡小学校	40
6日	紫竹山小学校	53
7日	新津第二小学校	67
	分田小学校	24
	坂井輪小学校	33
8日	早通小学校	30
	東山の下小学校	40
	水原小学校	29
	片貝小学校	36
	荻川小学校	35
	黒川小学校	30
9日	和納小学校	45
	関原小学校	88
	月岡小学校	24

	中条小学校	20
	大野小学校	13
	真砂小学校	65
10 日	阿賀小学校	28
	丸山小学校	44
	神山小学校	20
12 日	◆金泉小学校	20
13 日	東小千谷小学校	39
	三条小学校	19
14 日	大蒲原小学校	15
	大巻小学校	17
	小出小学校	86
	松浜小学校	28
15 日	新組小学校	44
	関屋小学校	22
	桃山小学校	53
	蓮野小学校	36
16 日	山倉小学校	62
	上山小学校	36
	御免町小学校	49
	亀田東小学校	47
	安野小学校	45
	山辺里小学校	51
17 日	中之島小学校	31
	潟東小学校	44
	加治川小学校	50
	上小国小学校	8
	新通小学校	50
	五十沢小学校	29
18 日	小合小学校	12
	沢根小学校 PTA	23
19 日	◆八幡小学校	8
21 日	巻北小学校	33
22 日	二葉小学校	45
22 日	五泉小学校	33
	豊田小学校	45
	横越小学校	36
23 日	亀田小学校	76
	三川小学校	17
	青山小学校	42
	新津第一小学校	26
	中島小学校	40
	第二上田小学校	10
24 日	竹尾小学校	41

	赤石小学校	18
	藤塚小学校	16
	保内小学校	62
	曾野木小学校	60
29 日	猿橋小学校	37
30 日	浦佐小学校	39
	東曾野木小学校	41
	内野小学校	29
	立仏小学校	20
	岩船小学校	33
7 月 1 日	鹿瀬小学校	18
	栢窪小学校	4
5 日	富曾亀小学校	33
6 日	堀之内小学校	80
	新道小学校	48
7 日	上所小学校	74
	万代長嶺小学校	21
	五泉南小学校	22
	大形小学校	78
8 日	津川小学校	26
	日和山小学校	57
13 日	満日小学校	8
14 日	栖吉小学校	42
	村上小学校	21
15 日	柿小学校	24
20 日	川口小学校	39
22 日	下川西小学校	9
24 日	育英会	21
25 日	両津やまきホテル	18
30 日	創成会	27
8 月 6 日	笛吹市役所	92
7 日	京都監査法人	9
9 日	小島石材工芸	14
31 日	内郷小学校	16
31 日	二田小学校	30
9 月 1 日	東小学校	45
	愛宕小学校	20
7 日	JRTM	7
	水沢小学校	32
8 日	下条小学校	22
	新潟小学校	91
	五泉東小学校	41
9 日	大通小学校	64
	山の下小学校	38

10 日	佐和田中学校 PTA	38
15 日	田尻小学校	82
16 日	大渕小学校	17
	両川小学校	24
	田沢小学校	36
17 日	(株) ことりや	25
28 日	◆佐渡中等教育学校	39
29 日	千手小学校	31
	橘小学校	10
	上野小学校	11
11 月 12 日	吉井小学校子ども会	12
20 日	小原流	74
2 月 8 日	◆七浦小学校	8
3 月 10 日	◆相川小学校	21
	合計 4,718	

【佐渡国小木民俗博物館】

月日	団体・視察者名	人数
4 月 5 日	◆南佐渡中学校	33
22 日	◆相川中学校	41
5 月 2 日	◆新穂小学校	102
5 月 3 日	JTB GM	129
23 日	JTB GM	203
6 月 1 日	燕東小学校	10
2 日	新関小学校	13
	吉田地区合同小学校	35
	大鷲小学校	22
6 月 6 日	グローバル	18
7 日	ワールド航空サービス	18
	山田小学校	18
8 日	水原小学校	19
9 日	丸山小学校	49
	大野小学校	11
15 日	桃山小学校	27
16 日	関谷小学校	24
	上小国小学校	11
	築地小学校	45
	東武トップツアーズ	26
19 日	三越伊勢丹旅行	26
22 日	横越小学校	24

23 日	小林小学校	38
	新津第一小学校	56
24 日	旅サロンとやま	20
25 日	岩手旅行社	17
	なかよし	19
28 日	柏崎小学校	81
29 日	入広瀬小学校	15
30 日	三郷小学校	8
	内野小学校	32
	中野山小学校	61
7 月 1 日	黒田小学校	34
2 日	T P S 旅行	17
3 日	那珂川商工会	18
5 日	糸魚川能生地区協議会	27
6 日	サンサン会	26
	小木公民館	10
7 日	万代長嶺小学校	20
8 日	青木島小学校	91
9 日	住吉公民館	50
12 日	松代小学校	69
13 日	新潟大付属新潟小学校	81
15 日	千曲市棚田保全推進会議	34
8 月 21 日	国土交通省（視察）	17
28 日	DAY CAMP	54
29 日	常福寺	30
9 月 1 日	愛宕小学校	31
6 日	◆二宮小学校	77
8 日	山の下小学校	42
	新潟小学校	100
16 日	◆真野小学校	44
18 日	(株) ことりや	25
27 日	日通旅行	31
10 月 5 日	天理三区	20
	日本旅行	26
13 日	日本旅行	29
	◆小木保育園	20
17 日	日本旅行	29
20 日	芸大クラス会	22
27 日	日本旅行	16
10 月 28 日	あるこう会	26
11 月 2 日	富山地鉄サービス	22

	愛媛新聞旅行	24
11月4日	社会教育課	24
5日	新潟県民具学会	8
	合計 2,445	

【海運資料館】

月日	団体・視察者名	人数
5月24日	新潟県立海洋高校	22
26日	新潟県立海洋高校	22
30日	全国町並みゼミ	15
31日	新潟県立海洋高校	23
6月2日	新潟県立海洋高校	21
9月6日	◆二宮小学校	75
11月19日	ジオガイド養成講座	6
2月10日	佐渡観光協会南佐渡支部	1
3月18日	佐渡市教育委員会	4
	合計 189	

【新穂歴史民俗資料館】

月日	団体・視察者名	人数
4月10日	新潟県立歴史博物館	1
21日	◆新穂小学校	15
23日	写彩の会	3
5月10日	◆佐渡総合高校	15
20日	◆松ヶ崎小学校	22
25日	◆新穂中学校（総合学習）	8
27日	観光視察（のろま人形公演）	29
6月1日	◆新穂中学校（総合学習）	9
9日	月岡小学校	26
16日	三用小学校	9
21日	◆新穂中学校（総合学習）	9
7月3日	新潟大学人文学部	9
16日	のろま人形公演	44
17日	のろま人形公演	76
18日	のろま人形公演	23
23日	のろま人形公演	29
24日	のろま人形公演	21
25日	のろま人形公演（読売旅行）	28
29日	のろま人形公演（読売旅行）	28
30日	のろま人形公演	18
31日	のろま人形公演	24
8月6日	のろま人形公演	13
7日	のろま人形公演	44

11日	のろま人形公演	37
13日	のろま人形公演	25
14日	のろま人形公演	20
15日	のろま人形公演	43
20日	のろま人形公演	27
21日	のろま人形公演	27
9月12日	のろま人形公演（読売旅行）	32
16日	◆真野小学校	51
26日	のろま人形公演（読売旅行）	36
10月12日	◆新穂中学校（体験学習）	27
2月21日	◆新穂小学校3年生	24
22日	◆八幡小学校3、4年生	25
3月19日	神奈川大学	3
	合計 880	

【赤泊郷土資料館】

月日	団体・視察者名	人数
6月10日	◆赤泊小学校	13
8月4日	◆赤泊保育園	13
10月13日	◆小木保育園	37
1月20日	◆赤泊小学校	27
	合計 90	

Ⅲ. 文化庁補助事業

文化庁「平成 28 年度 文化庁 文化芸術振興費補助金（文化遺産を活用した地域活性化事業）」を受けて補助事業を実施した。

【地域の文化遺産普及啓発事業】

イベント「佐渡民謡の祝祭－過去・現在・そして未来へ－」の開催

日	時	平成 28 年 10 月 2 日（日）
		午前 10 時～午後 4 時
主 催		佐渡民謡活性化実行委員会
会 場		史跡佐渡奉行所跡
来場者数		約 850 名
事業費		3,196 千円

佐渡民謡の普及啓発・次世代継承を目的とし、島内 17 民謡団体、七浦小学校民謡クラブ、羽茂高等学校郷土芸能部などが出演する佐渡民謡堪能イベントを開催した。

予想を大幅に超える来場者を迎え、次世代継承に繋がる第一歩を踏み出すことができた。

【地域の文化遺産記録作成事業】

「佐渡民謡」という貴重な文化遺産を、未来を託す子どもたちに伝えて行くため、佐渡民謡の記録集及び教材用 DVD 等を作成し、各学校等へ配布した。事業費 5,022 千円

<成果物>

- ・ 佐渡おけさのあゆみ
教材用動画（DVD29 分）……100 部
- ・ 佐渡民謡の記録
佐渡民謡記録動画（DVD209 分）…100 部
- ・ 佐渡の民謡
佐渡民謡小冊子 CD 付（CD76 分）…100 部

IV. 佐渡学センター事業報告

1. 展示事業

【佐渡博物館】

<常設展示>

事業趣旨

昭和 32 年 9 月 1 日に佐渡の郷土資料を収蔵・展示する総合博物館として開館。島内の学術団体、研究者の協力・支援のもと、調査研究・収集保管・展示公開等の事業を展開してきた。

平成 5 年には増改築を行い、2 階土田麦僊素描展示室（現 2 階企画展示室）と 1 階企画展示室（現 1 階佐渡金銀山展示室）を新設した。

平成 25 年 11 月 30 日に運営主体の財団法人が解散し、一時休館。

平成 26 年 4 月 1 日に佐渡市立博物館として、「世界農業遺産（GIAHS）」・世界遺産暫定リストに登録された「佐渡金銀山」・「日本ジオパーク」に認定された佐渡ジオパークの三つの遺産を発信すると共に、佐渡の自然・歴史・文化の調査研究・公開・発信を進め、佐渡学を学べる総合博物館として、再出発した。（土地は八幡館の所有。建物は新潟交通株式会社の所有。寄贈資料・購入資料として財団法人が所有していた資料は佐渡市の所有となった。）

所蔵資料は約 7,000 件あり、そのうち土田麦僊素描資料は約 500 点である。

展示構成

常設展示は、2 階自然・考古・歴史・民俗展示室で行っており、佐渡ジオパークのコンセプトである「金とトキでたどる 3 億年の旅とひとの暮らし」の題で佐渡全体の自然・歴史・文化をまとめて紹介している。

同じく 2 階の美術・工芸展示室は企画展示場となっている。無名異焼・蠟型鋳金などの伝統工芸

作品や佐渡出身の美術作家の作品などの展示を行っている。

1 階では佐渡金銀山展示室を設け、絵図面・採掘精錬道具・出土品・絵葉書等を用いて佐渡金銀山遺跡の紹介・案内・歴史解説を行っている。1 階ホールには、「佐渡と人物」・佐渡市が推進する三つの遺産のパネル、佐渡に伝わる民謡や佐渡ジオパークの紹介 DVD 上映コーナー、クジラの化石等がある。

中庭はロックガーデン（佐渡産出の岩石 50 種）となっていて、赤松林の中を散策できる。中庭の両脇に、佐渡の民家と土蔵（いずれも移築、安全確保のため建物内立入り禁止）・古墳時代の竪穴住居と高床式倉庫（いずれも復元、安全確保のため建物内立入り禁止）がある。定期観光や、案内を希望する入館者に対応するため、簡易的なガイドマニュアルを作成し、職員が即座に対応できるようにした。

また、平成 27 年度からは、展示されている内容から出題するクイズブックを開始した。主に小学生を対象として想定している。難易度ごとに初級・中級・上級・博士コースの 4 種類を作成し、希望する人が挑んでいる。

常設展示の保守点検・補修

中庭にあるロックガーデンの案内パネルを更新した。併せて、岩石の配置がわかる園内マップを作成し、看板にして中庭の入口に設置した。

中庭に移築し展示していた古民家の老朽化が著しいため、平成 27 年度から修復工事を行っている。27・28 年度に茅葺屋根の葺き替えを実施した。

佐渡の自然・歴史・文化を紹介する博物館・子

ども達の学びに活用できる博物館・佐渡が次世代に伝えたい3資産(佐渡金銀山・佐渡ジオパーク・世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」)を紹介する施設として、館内外及び周辺的美観や見学環境を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

資料展示替え

佐渡市立佐渡博物館として再出発するのに合わせて、2階で行っていた佐渡金銀山展示を1階に移動し、新たに美術・工芸関係の展示スペースとして、2階で土田麦僊、人間国宝3名の作品など美術・工芸を中心に展示した。

<企画展示>

「佐渡の美術・工芸」

会期 平成28年4月17日(日)～6月27日(月)
11月11日(金)～平成29年1月31日(火)

主催 佐渡博物館

内容 主に佐渡出身の重要無形文化財保持者(人間国宝)3人の作品及び佐渡出身または佐渡ゆかりの美術工芸作家の作品を展示した。会場には作者の略歴を記した配布資料を置いて、作品展示だけでなく作家の紹介もできるように配慮した。

「ペットボトルアート『朱鷺の舞う佐渡の自然』」

会期 平成28年7月7日(木)～10月31日(月)

主催 佐渡市教育委員会

内容 八幡出身で現在は横浜市を本拠地に活躍している本間ますみ氏の個展。

接着剤や塗料を使用せず、ハンダゴテと人の手のみでペットボトルをアート作品にする「ペットボトル ソフィスティケイティドアート」の分野で、県内では初めて開催されるものとなった。

この展覧会では、早春から晩秋に至る佐渡の身近な自然、そこに暮らす動植物を実物

大で表現した作品を展示した。来場者はLEDによって浮かび上がる光景に親近感を抱くと同時に作品の精巧さに目を奪われた。期間中は作者 本間ますみ氏によるペットボトルアート制作教室(大人向け)も開催した。入館者数 6,756人。

ホール展「北一輝『霊告日記』修復記念展示」

会期 平成28年7月25日(月)～10月31日(月)

主催 佐渡博物館

内容 「霊告日記」は、両津湊出身の思想家である北一輝(1883～1937)が昭和4年4月27日から昭和11年2月28日(2・26事件の2日後)にかけて記した肉筆の記録である。日記の作成から約80年が経ち、革表紙や背表紙などの破損が目立っていた。

平成27年度に佐渡市が修復・保存のための寄附を受け、修復を実施した。

その修復が完成したことを受け、1階ホールに臨時に資料紹介コーナーを設け、記念展示を実施した。

「松前神社 三十六歌仙絵馬」展

会期 平成28年11月11日(金)

～平成29年1月31日(火)

主催 佐渡博物館

内容 2階 美術・工芸展示室をおよそ半分に仕切り、「佐渡の美術・工芸」展示と併行して行った企画展示。

三十六歌仙とは、平安時代中期の歌人藤原公任が編纂した秀歌撰「三十六人撰」に選ばれた歌人のこと。三十六歌仙絵馬は、歌人の人物像と詠んだ和歌を配した額を神社や寺に奉納したもの。佐渡に伝わる歌仙絵馬のうち、松ヶ崎にある松前神社に奉納されたものを展示した。入館者数 602人。

【両津郷土博物館】

＜常設展示＞

平成 26 年 4 月 1 日より休館。事前申込みにより開館し、館内案内、資料閲覧の要請に対応した。

事業趣旨

昭和 53 年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また生涯学習の一拠点として、昭和 57 年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に 3 万点以上の資料が収蔵されている。

展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第 1～第 3 展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

【相川郷土博物館】

＜常設展示＞

事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い、鉱山資料と共に三菱より相川町へ譲渡され、昭和 31 年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心に約 800 点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）等がある。

展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女関連資料、昭和 10 年代に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

常設展示の保守点検・補修

建物の一部および敷地が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成 28 年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

展示資料替え

佐渡博物館 1 階の佐渡金銀山展示室に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

【相川文書館】

＜常設展示＞

事業趣旨

昭和 45 年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和 48 年に旧第四銀行相川支店（大正 2 年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和 50 年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。平成 23 年 3 月、条例廃止と同時に

機関廃止した。

展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。平成 27 年度は、それらの貴重資料の目録を作成した。

常設展示の保守点検・補修

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

【相川技能伝承展示館】

<常設展示>

事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入れを主目的に昭和 61 年に開館した。

展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては、裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

常設展示の保守点検・補修

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため、火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

展示資料替え

展示している陶芸作品は寄託品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

また、裂き織り作品販売コーナーに隣接して、商品サンプル的な陶芸作品を展示するスペースを設けて、出品している。

【史跡佐渡奉行所跡】

<常設展示>

事業趣旨

平成 6 年に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成 13 年に「御役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成 16 年には金銀山のガイダンス施設となる「勝場」の公開を開始した。

平成 28 年度には、史跡佐渡金銀山遺跡佐渡奉行所跡整備基本計画書を策定し、経年劣化箇所の補修と今後の活用の方方向性を計画した。

展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では、発掘調査で出土した遺物や、絵巻物（レプリカ）などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山臼を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡國相川ひなまつり・お茶会」「宵乃舞」「鉱山祭り」の会場として開放している。

順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

常設展示の保守点検・補修

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等

総合点検を実施している。

＜企画展示＞

「佐渡國相川ひなまつり」
会期 平成 29 年 3 月 1 日（水）～3 月 21 日（火）
主催 佐渡國相川ひなまつり実行委員会
後援 佐渡市
会場 史跡佐渡奉行所跡 御門番所
内容 御門番所に雛人形（相川郷土博物館所蔵）を飾り、来館者に鑑賞していただいた。入館者数 834 人。

【佐渡国小木民俗博物館】

＜常設展示＞

事業趣旨

大正 9 年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数 30,000 点余り。うち「南佐渡の漁撈用具 1,293 点」「船大工道具 1,034 点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政 5 年（1858）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとにし、実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示室には、全長 23.75m の白山丸を展示しており、船内の見学もできる。

順路案内

旧館と展示館は通路がつながっているが新館が離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館

者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動の支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

28 年度は、4～9 月までに博物館周辺の草刈り、樹木の剪定を行った。消防用設備等総合点検は 2 回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

＜企画展示＞

「白山丸まつり」
会期 平成 28 年 7 月 23 日～7 月 24 日
主催 白山丸友の会
共催 佐渡市教育委員会
内容 文化財の公開及び普及啓発を目的とし、日本で最初に完全復元された千石船「白山丸」を年一度屋外展示、帆上げし公開することにより島内の観光施設への誘客を図る。来場者 800 人。

【海運資料館】

＜常設展示＞

事業趣旨

この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民のくらしとの係わり合いを資料展示している。

展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、旧小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近代の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、考古資料は国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

【幸丸展示館】

＜常設展示＞

事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往来を繰り返した。小木ー寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木ー寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

展示構成

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内解説看板や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（枕状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

【佐渡植物園】

＜常設展示＞

事業趣旨

佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。

青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

展示構成

北緯 38 度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。

日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～7 月上旬が見頃である。

園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

＜企画展示＞

「春の山野草展」

会期 平成 28 年 5 月 14 日～5 月 15 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 13 人、展示 235 鉢、来場者 133 人

「ウチョウラン展」

会期 平成 28 年 7 月 2 日～7 月 3 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 12 人、展示 262 鉢、来場者 123 人

「大文字草展」

会期 平成 28 年 10 月 29 日～10 月 30 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 15 人、展示 273 鉢、来場者 114 人
写真 18 点

「雪割草展」

会期 平成 29 年 3 月 25 日～3 月 26 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 14 人、展示 341 鉢、来場者 203 人

写真 15 点

【新穂歴史民俗資料館】

<常設展示>

事業趣旨

当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、旧新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

展示構成

1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形・のろま人形に関する資料が展示されている。2 階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

常設展示の保守点検・補修

平成 21 年度までは佐渡市が受付・保守管理をしていた。平成 22～25 年度は新穂さきおりサークルに、平成 26 年度は佐渡シルバー人材センターに受付業務を委託した。平成 27 年度からは地元有志の団体「新穂の歴史と民俗を考える会（通称：新穂資料館友の会）」（主な構成員：新穂ふる里講座・新穂銀山友の会・新穂山車保存会・新穂さきおりサークル）に受付・企画展開催を含めた管理運営業務を委託した。施設保守・点検については、保守点検業者に委託し、市職員が新穂資料館友の会の協力を得て実施した。

<企画展示>

「2016 新穂写彩の会 作品展」

会期 平成 28 年 4 月 26 日（火）～5 月 22 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

内容 2016 年の新穂写彩の会の作品展。特別出品として佐渡総合高校の写真部の作品も合わせて展示した。入館者数 264 人。

「『のろま人形』絵画展」

会期 平成 28 年 6 月 21 日（火）～7 月 9 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

内容 新穂歴史民俗資料館を会場にして、新穂地区内の芸能団体による芸能公演（春駒、のろま人形）が 7 月～8 月に行われることに先立って、「のろま人形」を題材にした絵画、上演風景写真展。島内在住のアマチュア作家（斉藤テル氏、山田武夫氏、高橋信一氏）および愛知県立芸術大学名誉教授 布施伸介氏（物故 日本画家）の作品等を展示した。入館者数 160 人。

「麦僊」展

会期 平成 28 年 7 月 20 日（水）～10 月 2 日（日）

※第 1 期 7 月 20 日（水）～8 月 7 日（日）

第 2 期 8 月 9 日（火）～9 月 4 日（日）

第 3 期 9 月 6 日（火）～10 月 2 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

内容 土田麦僊の下絵・本画・書簡など、佐渡市立博物館・資料館収蔵品や島内個人蔵の作品・資料を展示した。

佐渡博物館での特別展開催に伴い、同館に土田麦僊関係の展示が一時的になくなったため、貴重な鑑賞機会となった。

入館者数 1,242 人

「大屋昌彦 デジタルアート」展

会期 平成 28 年 8 月 30 日（火）～10 月 2 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

内容 新穂地区在住の大屋昌彦氏が制作したデジタルフォトの作品展。平成 27 年度につづく

2 回目の開催となった。来館者は写真と絵画を融合させた鮮やかで個性的な色彩と表現、さらに大屋氏の人柄が表れた作品を楽しんだ。また、会場で展示作品の人気投票も行われた。入館者数 630 人。

「裂き織り」作品展

会期 平成 28 年 10 月 9 日（日）～10 月 31 日（月）
主催 新穂さっこりサークル
共催 新穂の歴史と民俗を考える会
内容 10 月 9 日の「トキタ見え市」に合わせて開催。主に島内在住の裂き織り愛好者が作品を出品した。作品数 150 点、入館者数 860 人。

「新穂大野『清水寺 二十八部衆像』」展

会期 平成 29 年 3 月 1 日（水）～4 月 23 日（日）
主催 新穂の歴史と民俗を考える会
共催 新穂銀山友の会
協力 新穂大野 東光山清水寺
新穂写彩の会、佐渡博物館
内容 新穂大野の東光山清水寺の本堂（本尊は木造千手観音立像）にあった木造の二十八部衆像（本尊 千手観音の眷属）の写真パネル・比較的保存状態のよい像を公開。
清水寺の二十八部衆像は、平成 17 年 7 月に「新潟の仏像展」の事前調査で来島した新潟県立近代美術館 水野敬三郎館長（当時）らによる調査がきっかけとなり、学術的な調査の目が向けられるようになった。その形態から制作が平安時代後期までさかのぼるとの見解が示されている。しかし現状では保管環境に不安があることが否めず、清水寺のご理解ご協力のもと、平成 28 年 1 月～2 月に佐渡市が収蔵庫へ移動し、燻蒸処理を実施した。平安時代後期までさかのぼる唯一の遺例と考えられるこれらの木造を地元の方々に紹介する機会とな

った。入館者数 474 人。

【金井歴史民俗資料収蔵庫】

<常設展示>

事業趣旨

広く佐渡国中平野における農耕文化資料の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉が旧両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約 2,000 点、考古資料約 4,000 点を収蔵している。平成 23 年 3 月に佐渡市歴史民俗資料館条例から記載を削除すると同時に機関廃止した。

平成 23 年度から資料館としての開館は行っていない。

【明治記念堂（開導館）】

<常設展示>

事業趣旨

明治 27 年から 28 年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士 40 余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治 29 年に、金井地区得勝寺の住職である本莊了寛が一念発起し、島内外から義損金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治 35 年に、明治記念堂と開導館の落成式が開催された。

平成 23 年 3 月に条例廃止すると同時に機関廃止した。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

2. 収集保管事業

寄贈

4 月

- ・林昭三作 木彫 「道」

6 月

- ・文弥人形（源義経・静御前）、ガラスケース

7 月

- ・馬堀法眼喜孝画 七福神
- ・九谷焼井鉢
- ・第 3 回佐渡おけさ全国大会優勝トロフィー
- ・大立堅坑内鉱石

- ・渡辺藤一作 木彫 人物像

- ・小木半島産の岩石 2 個

8 月

- ・萩田家資料 一括

9 月

- ・安田家古文書並びに記録
- ・石川甚五郎家資料
- ・井上家資料

- ・佐渡おけさ関係 CD・DVD ほか

10 月

- ・石膏像
- ・高見良一氏遺作 版画類ほか
- ・山田武夫氏遺作 貼り絵・日本画
- ・本間俊夫氏収集民具
- ・佐渡新聞、東京毎夕新聞

11 月

- ・神代杉（新穂潟上出土）
- ・江川蒼竹書軸、小川末吉色紙、新聞切抜きほか
- ・ペットボトルアート作品 蝶・カマキリ・カブト虫・トンボ
- ・白山瀬より揚陸の碇
- ・青野季吉自筆原稿
- ・佐々木八郎自筆原稿

12 月

- ・土屋永長家 連歌関連資料
- ・角巻、刺し子の中掛け他衣類一式
- ・キジの剥製 付ガラスケース
- ・伊藤珠谷画 屏風

1 月

- ・衣類（サシコを施す）一式

2 月

- ・本間雅晴 元陸軍中将 揮毫書 篤敬
- ・中川雀子はがき 三宅清治郎宛て
- ・王治本書 書軸
- ・赤泊 音屋丸 漁具

3 月

- ・沢根佐野屋 雛人形、土人形 12 件

採集

3 月

- ・佐渡産ネズミ・モグラ類 標本

寄託

8 月

- ・呉州手染付龍文壺、呉州手染付唐草文壺、呉州手赤絵龍文四耳壺

- ・金子勘三郎家文書

11 月

- ・ペットボトルアート作品 カクチイソ及び LED 等展示装置一式

3. 調査研究事業

- ・ 佐渡島の哺乳類相調査事業

佐渡島に生息する固有の哺乳類の実態を明らかにするため、小佐渡・国中地域を中心に捕獲調査を実施した。

捕獲した個体は、ハタネズミが 2、アカネズミが 25、サドモグラが 2 の計 29 個体。そのすべてについて、外部形態を計測した後、標本化した。標本は、佐渡博物館と神奈川県立生命の星・地球博物館に分けて収蔵した。

日時：平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

内容：生息する種の調査（痕跡調査・ワナ捕獲・
形態計測・解剖・標本作製）

実施者：佐渡博物館 山本佳奈（臨時職員）

神奈川県立生命の星・地球博物館

鈴木 聡（動物担当学芸員）

4. 普及教育事業

【小学校との連携事業】

・平成 28 年度 「小学生による佐渡金銀山関係の郷土学習」

佐渡市立全小学校を対象に、佐渡の金銀山に関連した郷土の歴史や文化などを学習する機会とし、郷土を愛し誇れる子どもたちの育成を目的とする。

参加校 相川小学校、沢根小学校、八幡小学校、
内海府小学校、羽茂小学校、新穂小学校

<現地学習の事例>

① 相川小学校

実施日 5月12日(木)、17日(火)、24日(火)

児童数 20人

内容 相川金山では、道遊の割戸、及び周辺施設等について、京町通り周辺では町名の由来、佐渡奉行所では金山との関連等、それぞれの場所で学習し、地元の歴史や文化を学ぶ機会とした。

行程 相川小学校→史跡佐渡金山→金山周辺→
相川小学校

② 沢根小学校

実施日 5月19日(木)、24日(火)

児童数 19人

内容 出前授業では、佐渡の金銀山、及び沢根の歴史と鶴子銀山について、現地学習では、相川金山周辺、及び鶴子銀山周辺について学習し、地元の歴史や文化を学ぶ機会とした。

行程 沢根小学校→史跡佐渡金山→鶴子周辺→
沢根小学校

③ 八幡小学校

実施日 9月2日(金)、13日(火)

児童数 15人

内容 出前授業では、佐渡金銀山、世界遺産登録に向けた取り組み、佐渡金銀山と八幡地区との関わりについて、現地学習では、佐渡金銀山の世界遺産登録関連施設について学習し、地元との関わりを学ぶ機会とした。

行程 八幡小学校→史跡佐渡金山→相川周辺→
八幡小学校

④ 内海府小学校

実施日 9月16日(金)

児童数 9人

内容 相川金山で、道遊の割戸、及び機械工場や近代化遺産、また、相川の町並み、佐渡奉行所について学習し、相川の歴史や文化を学ぶ機会とした。

行程 内海府小学校→相川周辺→内海府小学校

⑤ 羽茂小学校

実施日 9月30日(金)、10月6日(木)、
11月15日(火)

児童数 25人

内容 現地学習では、道遊の割戸、及び機械工場や近代化遺産について、出前学習では、相川街道周辺の遺跡やその由来、また、金に関連することについて学習し、相川の歴史や文化を学ぶ機会とした。

行程 羽茂小学校→史跡佐渡金山→羽茂小学校

⑥ 新穂小学校

実施日 11月14日(月)、22日(火)

児童数 14人

内容 出前授業では、新穂銀山の歴史、島内の金銀山について、現地学習では、新穂銀山周辺について学習し、地元の歴史を学ぶ機会とした。

行程 新穂小学校→新穂銀山周辺→新穂小学校

【出前授業・講演等】

・新穂小学校 6 年生

11 月 14 日（月）

出前授業「新穂銀山について」

・佐渡市地域限定特例通訳士養成講座

12 月 14 日（日）

講話「地域の伝統芸能について」

【職場体験】

・佐和田中学校 2 年生

実施日 7 月 27 日（木）～7 月 29 日（金）

生徒数 4 人

内容 佐渡博物館職員へのインタビュー、展示資料の作成、館内清掃 ほか

【学芸員実習】

下記 2 件の実習を実施した。

・首都大学東京

学生数 1 人

実施施設：佐渡国小木民俗博物館

期間 7 月 25 日（月）～8 月 3 日（水）

・日本大学

学生数 1 人

実施施設：佐渡博物館

期間 8 月 1 日（月）～8 月 12 日（金）

「小学生による

佐渡金銀山関係の郷土学習



道遊の割戸(相川金銀山)



大滝間歩(鶴子銀山)



百枚間歩(新穂銀山)

平成28年度

参加校学習成果

参加校

- ☆ 相川小学校 P35,P36
- ☆ 沢根小学校 P37~P53
- ☆ 八幡小学校 P60,P61
- ☆ 内海府小学校 P62,P63
- ☆ 羽茂小学校 P54~P59
- ☆ 新穂小学校 P64~P72

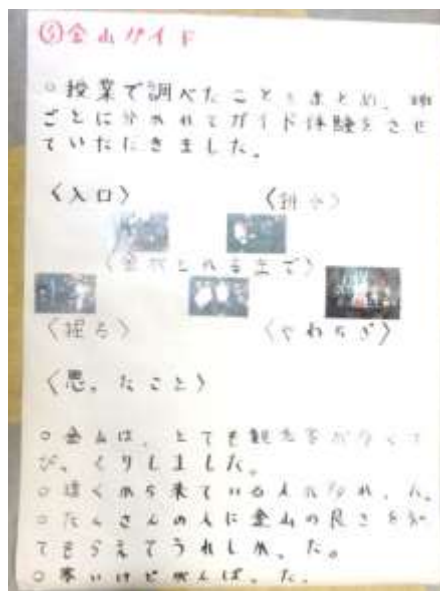
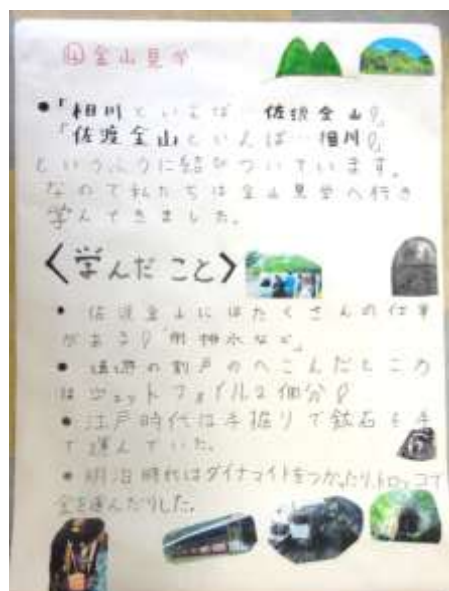
ぼくらが伝える黄金伝説！

佐渡市立相川小学校

1 指導計画

活動時期	活動内容	詳細
4月	全校総合 (オリエンテーション)	【講師】世界遺産推進課 山口様 佐渡金山について、プレゼンテーションを用いてお話をしていただく。
5月	①ストリートファニチャー探し (相川の町名調べ) ②京町・奉行所のガイドを受ける ③金山ガイドを受ける	京町通周辺に建てられている町名の書かれている石碑を探し、相川の町名について調べる。 【ガイド】世界遺産推進課 山口様 【ガイド】世界遺産推進課 濱野様 金山の2つのコースをまわり、ガイドを受ける。
6月	①京町・奉行所のガイドの原稿作り ②新津第一小学校の修学旅行生に、京町・奉行所のガイドを行う	ガイドを受けてみて、自分たちが始めて知ったことや興味をもったことを、まとめる。 5つの班に分かれ、京町通りと奉行所のガイドを行う。
7月	国際大学の留学生に、京町・奉行所のガイドを行う	外国語活動の時間に、自己紹介の練習を行った。通訳の方と協力し、ガイドを行った。
8月	新潟市の小学4～6年生に、京町・奉行所のガイドを行う	アグリパーク主催行事
10月	①1回目の金山のガイドを行う ②2回目の金山ガイドを行う	【指導者】ゴールデン佐渡 石川様 児童のガイドの様子を見ていただき、適宜アドバイスを受けながら、ガイドを行った。 【指導内容】 ・お客さんの目を見て話すこと ・間を空けすぎず話すこと
11月	まとめ	

2 児童のまとめ



3 活動の様子



くらげにのったのたま

ぼくたちは、くらげにのったのたまの言い伝え(昔話)と、本当の話を調べました。

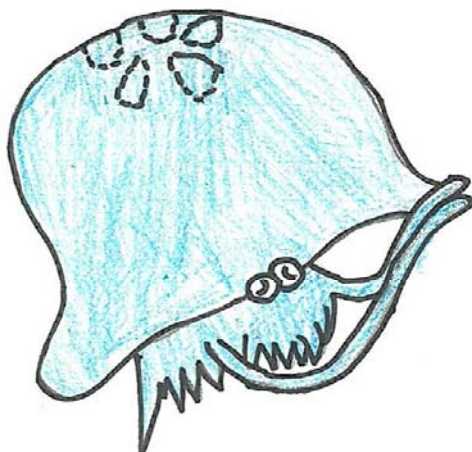
小根小学
浪根小学
金子伊中
藤川
木暮大和
木暮大和
木暮大和

目次

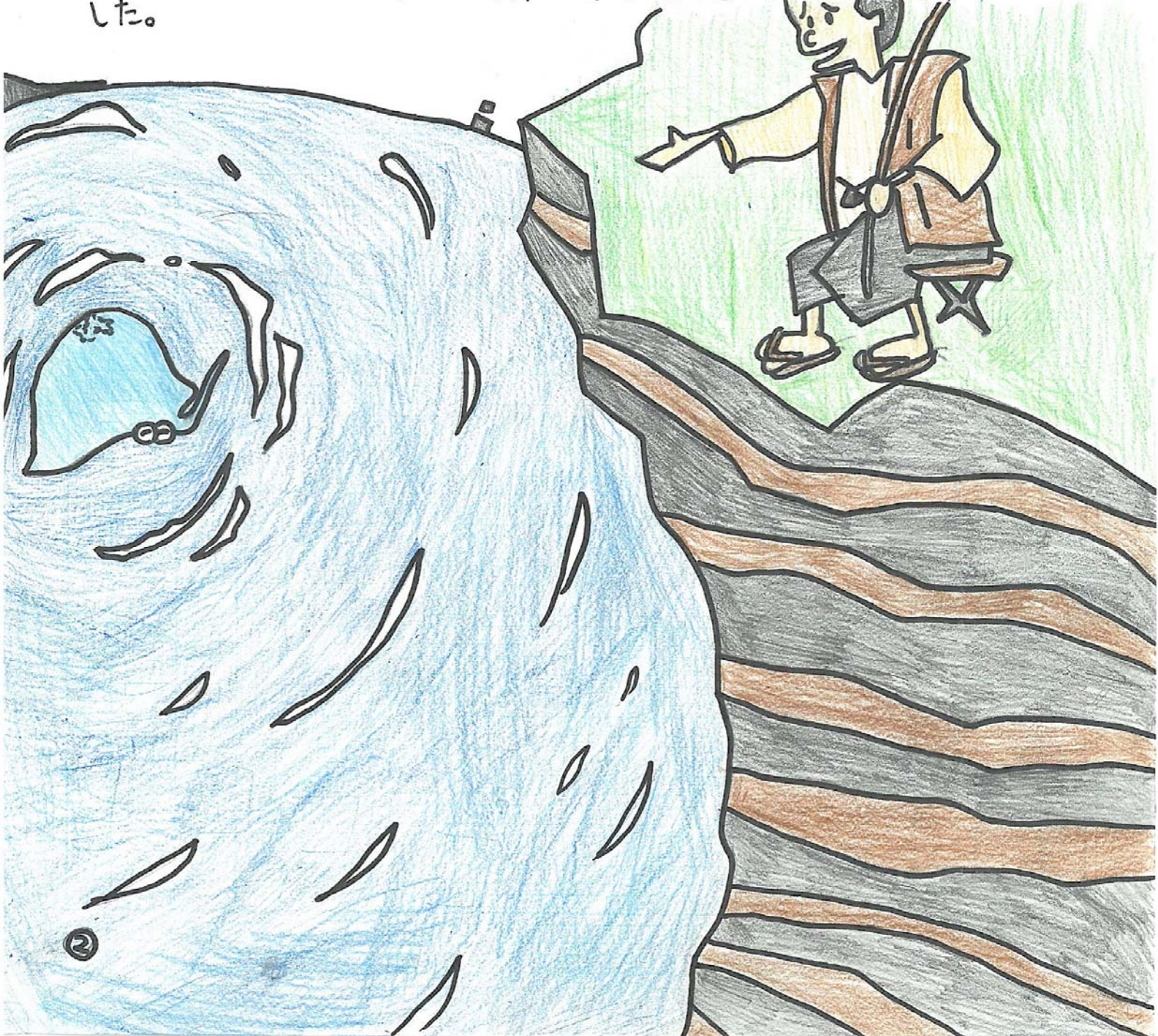
2P~くらげにのったのたまの昔話

6P~くらげにのったのたまの本当の話

7P~まとめ



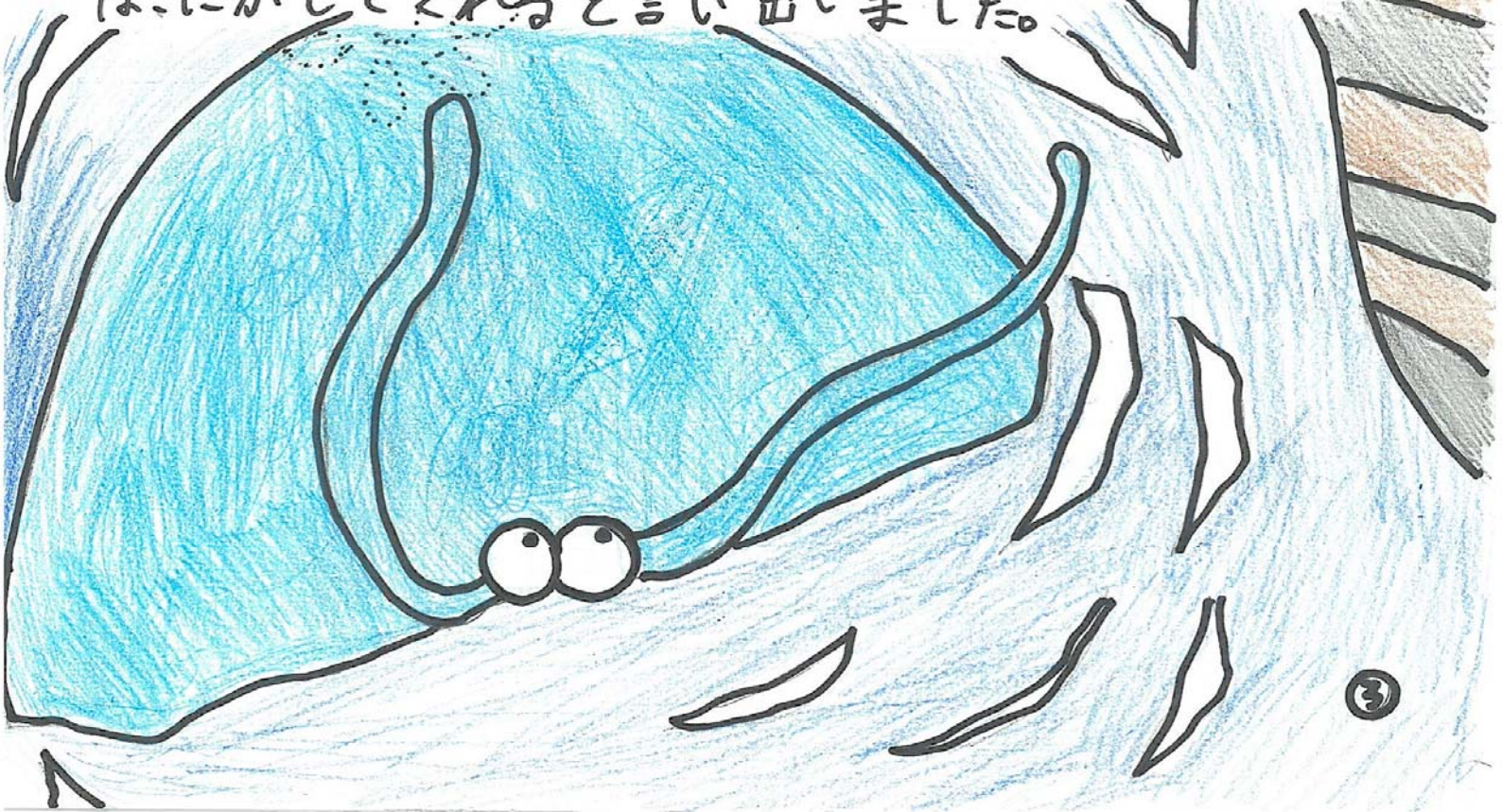
むかしむかし、淡根の郷に、白山城というお城がありました。ちっぽけなお城で、殿さまと、三十人ほどの家来が住んでいました。そのお城の近くには、鶴子という金山があったので、殿さまも家来も豊かに暮らしていました。その殿さまの名前は永州はとても魚つりが好きで、毎日つりをしていました。ある日、つりをしていたら、大きな手ごたえがありました。がんばってひきあげると、なんと、永州の背たけほどある大きなくらげでした。永州はくらげを殺そうとしましたが、くらげが恩返しをするといったので、目かけてあげました。そして、次の日、つりをしていると、またあのくらげがふかふかゆれて、つりを見ていました。永州はくらげが自分のことを覚えてくれていたのがうれしくて、えさを投げてやりました。こうしてくらげは毎日えさをもらい、大きく育っていきました。



ある日越後の春日山の上杉景勝が、鶴子銀山をう
ばおうと、大軍をつれておしよせてきました。



三十人ばかりの家来では歯がたたないと思、たおと
の様は、切腹しようとしたが、怖くなってそれなら崖から
飛び降りようと思、崖の方へ向かいました。崖へ行く
と、なんと、あの時のくらげがいました。そして、くらげ
は、にがしてくれろと言いました。



おとの様は、大きなかさを持^もつて来^きました。そして、
おとの様は、そのかさを開^{ひら}くと、両^{りょう}手でし、かりにぎ
りしめ「くらげ、頼^{たの}むぞ」というと、おとの様は、崖^{がけ}から
とびおりました。

波^{なみ}が、すごいきおいで近^{ちか}づいてきます。からかさは
風にあおられ、あ、ち^ちにフワフワに、ち^ちにフワフワ
それに合^あわせてくらげもあ、ちへブンワカこ、ちへブン
ワカ何^{なん}とかくらげは頭^{あたま}でとの様^{さま}を受けとめました。





こうして、
おとの様はくらげ
にのって無事逃げ
のびることができ
ました。

— 系冬 —

本当の話

実は本当の話では、上杉景勝と、永州は仲間で、
景勝が佐渡についた時、永州と景勝で、河原田
や、やはたの城を攻めたそうです。

そのため、大きなくらげは、もちろんいません。や
はり、本当の話は残りごくですね。

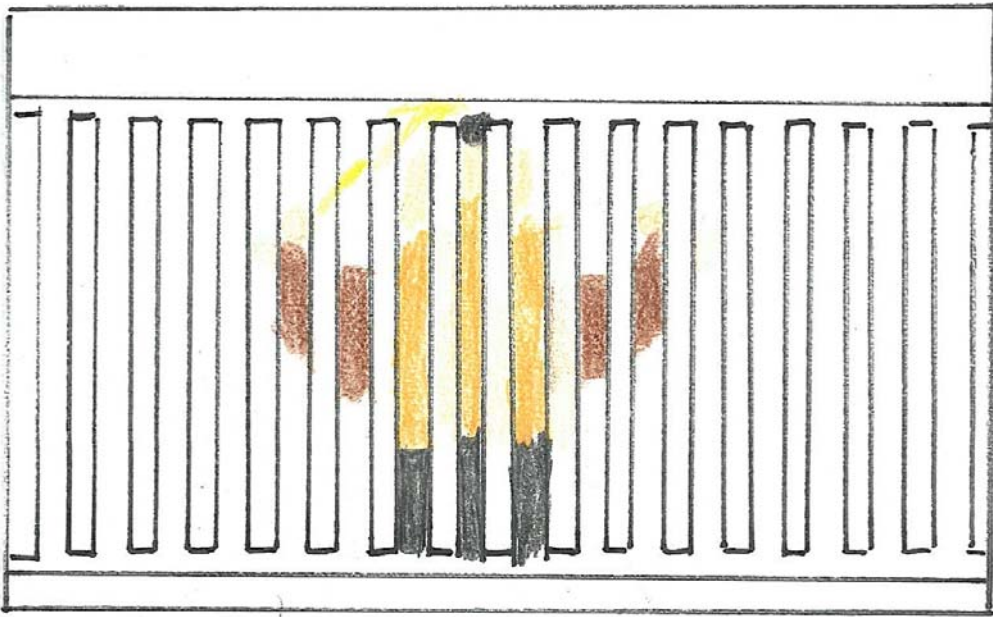


ま

と

め

くらげにのったとのさまは、
泥根とつる子銀山に、とても関係
の深い物語です。泥根小学校
の階段にも、ななめから見ると
くらげにのったとのさまのさし絵に
なる、手すりがあります。



な なめから見て…

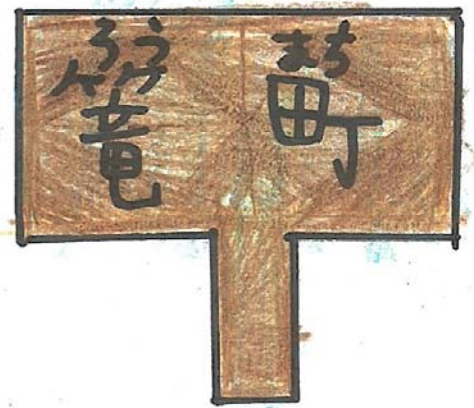


沢根地区の地名

沢根小学校
野崎東井太・中山毅
本間梨音

竜町

相川に移転するまで、牢屋がおかれていたことからつけられた町名です。1716年に「竜町」から「竜町」に読みかたが変わりました。



城の下

城の下

戦国時代にあった沢根城というお城の下町だったので城の下と名付けられた。

田中町

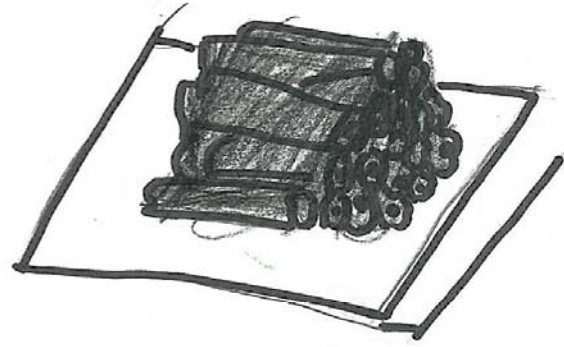
徳川氏が江戸に幕府を開くと、田中清六が佐渡代官として赴任してきます。清六が田中村に代官所を置いたことからついた町名で敦賀出身の廻船商人であったことから「たなか」



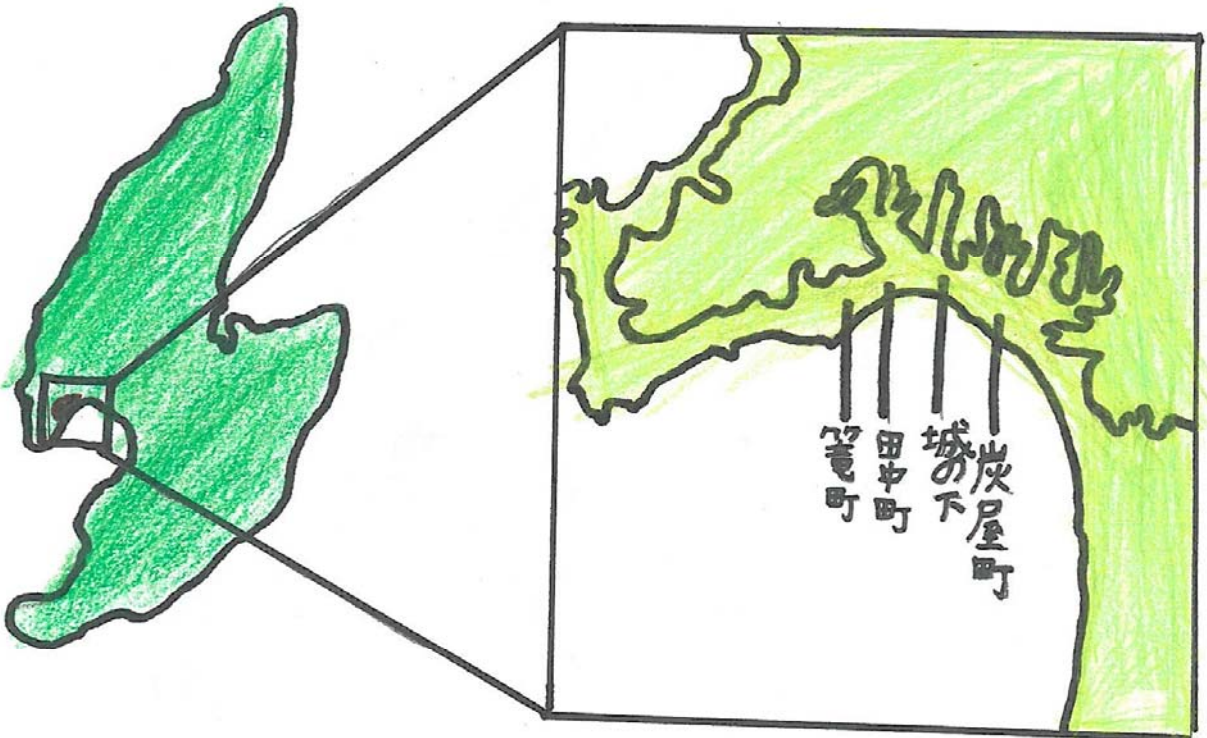
のアクセントが^{かんさいふう}関西風
になっています。

炭屋町

上杉氏が佐渡を平定し、鶴子銀山の開発が進むと、その製錬のために大量の炭が必要になってきたので、慶長5年荒崎川の河口に港が備えられました。翌年には番所が置かれ、諸国から入る資材に10分の1の税金を掛けていました。



沢根の地名



中山一里塚

沢根小

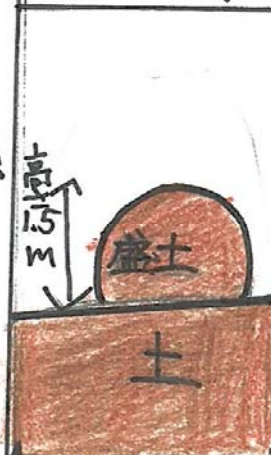
伊藤大晟、三井空

相川羽田町の辻の札
が最初の^{いち}里塚。近
くに六地藏がまつら
れて^いる^{いち}里塚は徳
川家康の命で^お大久保
長安が全国に整備した。
中山の^{いち}里塚は長径約4
m、高さ約1.5m。

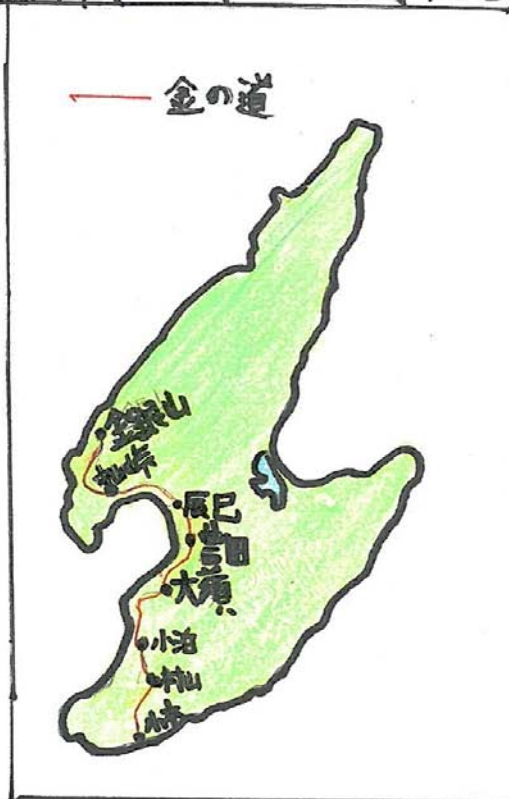
一里塚

横から
見た時

上から
見た時



直径約4m



佐渡の^{いち}里塚は、もとも
と17カ所あつたう
しい。今は中山、辰巳、
豊田、大須、小泊、村山、
小木の7カ所にあるう
しい。今は地域の^{ひと}人達
が東側の塚の^{ほこら}祠の前
で花と団子を供えることも
あつたらしい。

一里塚とは？

一里塚とは昔の人が使った道のりの目印。

ゲイギ塚

小み屋英
根の造真
沢登藤見
山直守佐

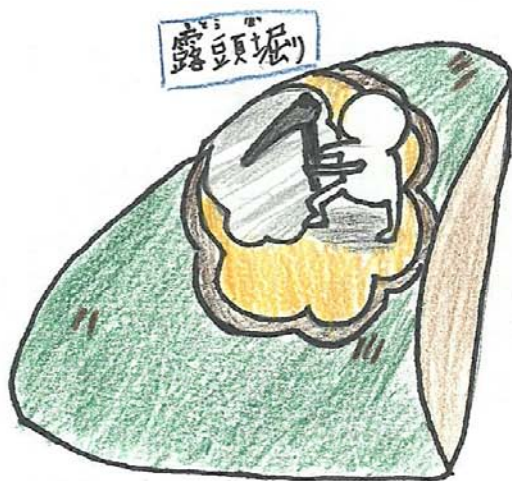
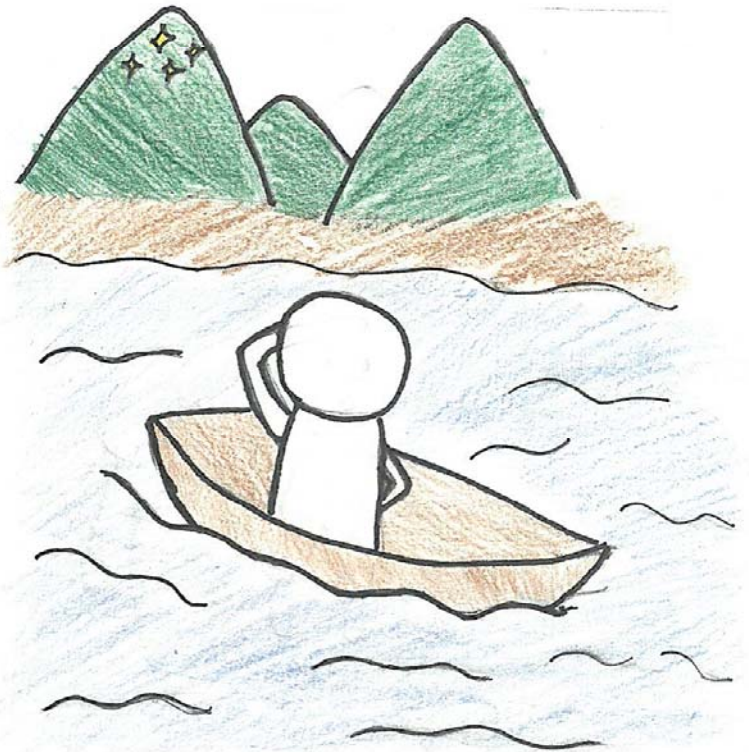
ゲイギ塚とは、昔方々人が道中の安全を祈り、この土塔に石を投げ入れました。入れば無事に着くことができると考えられていました。



沢根小学校
山口 凜奈
渡辺 唯彩

鶴子銀山

鶴子銀山は、1542年
越後国(新潟県)の商人によつて
発見されたと伝えられてい
ます。沖合から見ると、山
が光っており、上陸して調べ
たら、銀が出ました。



今でも鶴子銀山には「百枚
平」という地名が残り、地表
から銀を採掘した無数の
露頭掘りの跡を見ることが
できます。

相川の「道遊の割戸」は露天
掘りの結果、山が真二つに
割れてしまった奇観です。



だい かん や しき 代官屋敷

沢根小学校

大和彩華
谷川 桃伽

代官屋敷とは？

代官屋敷は、鶴子銀山で必要な材料や銀山で働く人々の食料を集めたり、ほり出された銀鉱石を管理する役所です。

上杉景勝が天正17年(今から約427年前)佐渡にいる敵をうちほろぼし、世の中を平和に治めるとして、矢の山口右京を代官屋敷に置きました。



食料
管理
銀の



だい かん
代官とは？

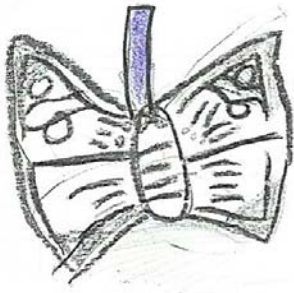
代官とは、先祖代々国を治める人ではなく、領地にかねて仕事をするための事務をつかさどる者、または、その地位をいいます。日本では、武士が政治(国)をやる権力における役職のひとつとなっています。



事務 & 仕事



先祖代々



3う かた ちゅう きん 虫型 金 鋳 金

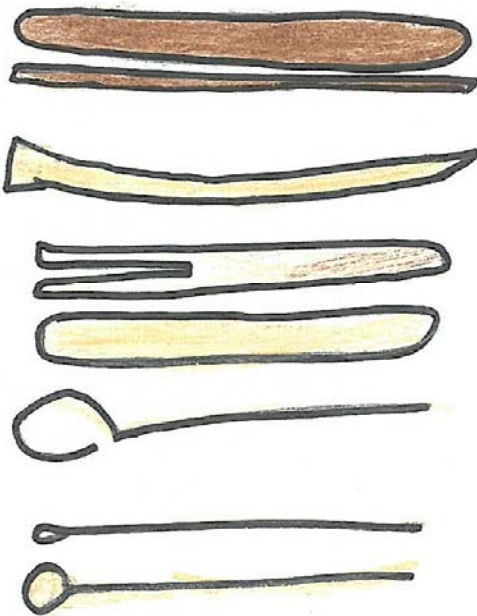
沢根小学校
金子沙弥・林茉莉花

3う かた ちゅう きん
 虫型 金 鋳 金とは、か ねつ と 溶かした金
 びん 属を 型に なが 込んで 固めたものです。

簡単な作り方の説明

① 3う かた ちゅう きん 虫で作品の原 型を作る。 	② ちゅう 土で覆う。 	③ かん ねつ 土が乾き、溶かした 虫を溶かして土 から出す。 
④ 溶かした銅合金 を注入する。 	⑤ ちやく しょく 着色する。 	⑥ かん せい 完成! 

3う かた ちゅう きん
 虫型 金 鋳 金は、ブローチやペンダ
 ントなど、アクセサリーの作品が多
 いです。



など
 など



は せい せい
 鋳 金 は、制作に応じて、丸いもの、
 細いもの、平らなもの、曲がっ
 たもの、持ちやすいものなど
 何種類も作り、使いわけていま
 す。



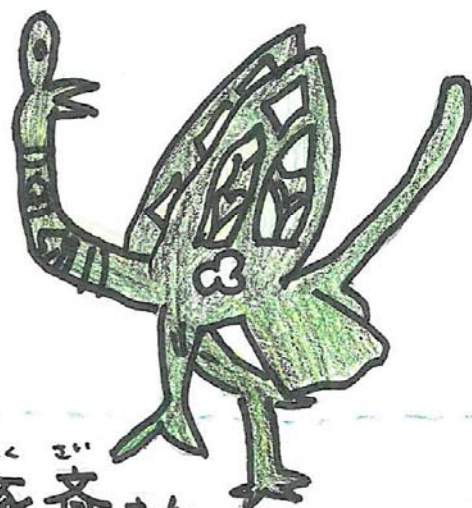
金銀山で発くつする時に使う「タカネ」を造るために新潟から呼んできた人が、蛭型鍔金を始めました。

有名な蛭型鍔金の製作者

○伊左木 象堂 さん

人間国宝にもなった人です。

この作品は、第5回日本伝統工芸展で最高賞を受賞しました。



○本間 琢斎 さん
数多くの博覧会などに出品し受賞と、光輝かしい業績を残しました。

○宮田 監堂 さん
多くの弟子を育て、島内にもたくさん作品を残しました。

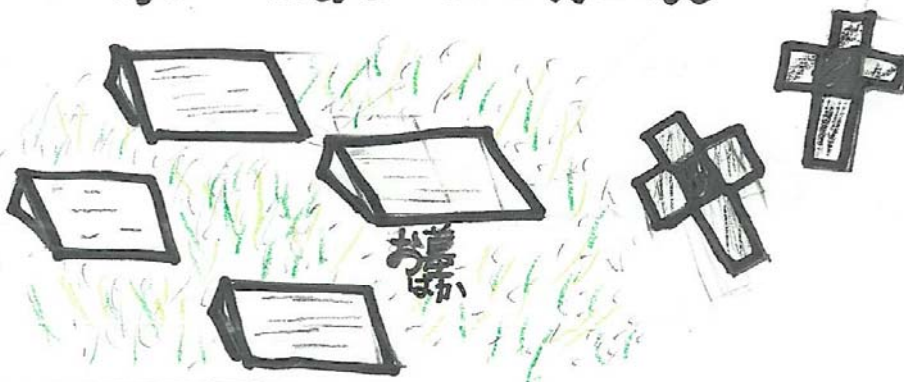


キリシタン塚

小来根 沢中
大塚
おおつち りん

キリッタン塚のはじまり

寛永^{かんえい}4年、今から400年前
島原^{しまはら}の乱が起きて左渡でキリッ
タン^か狩りが起きた時120人ほどが殺
されました。今は十字^かのた^た墓^{はか}地^ちとして
キリッタン塚^かの^か方^{かた}が^まわ^られ^てい^るは



マリア像^{マリア像}の^うわ^さ
夜^よ中^{ちゆう}の^{さん}時^じに^なる
とマリア像^{マリア像}は^ひか^ら赤^{あか}
い^なみ^ただ^を流^なす^と言^い
いま^す。
さ^がい^に、キリシタン^{キリシタン}士^し塚^{づか}
が^あか^ちゃ^んの^{こゑ}が^{きこ}
て^くる^と言^うう^わさ^が
あ^る少^しこ^わい^ミス
テ^リー^スポ^ット^です。

沢根だんご

百石川 葉光 塚

沢根だんごは、江戸時代金山が栄えていた頃からの名物として知られていました。天保の頃沢根の住人佐藤久次郎の工夫創製によるものとのこと。

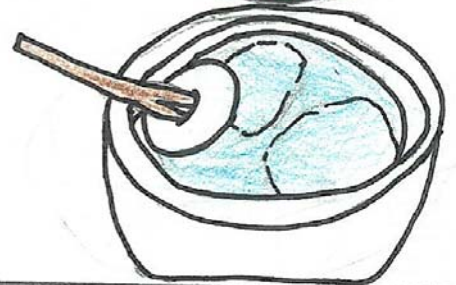
佐藤家は、代々回船が難破してしまふ家が業を続け事ができなくなりました。



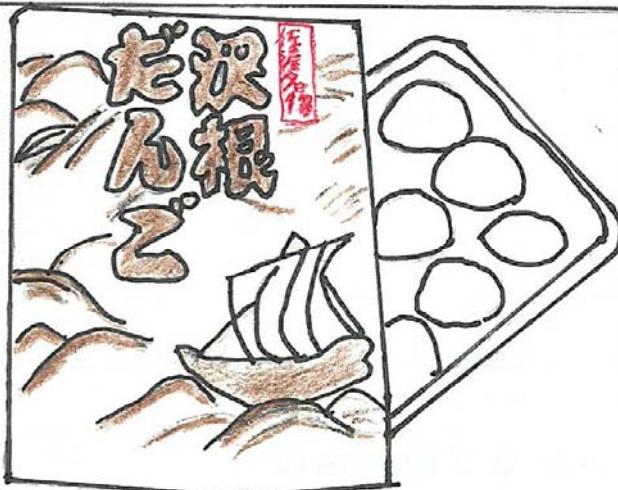
そこで妻と茶屋を開業したところこのだんごが評判をよび大いに盛ったそうです。



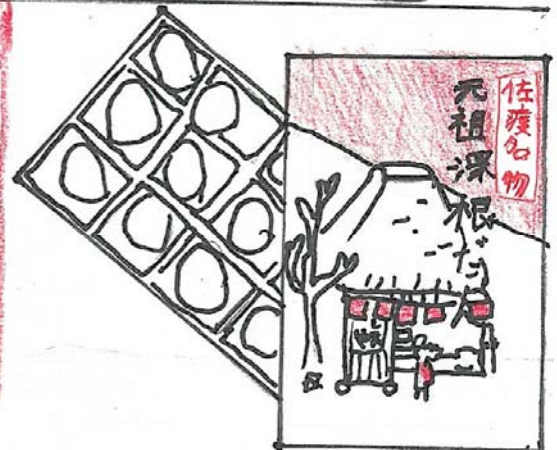
食べ方にも、コツがあり、氷水につけて食べるのがおいしい食べ方だそうです。



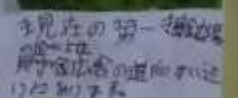
池田菓子舗さん
の沢根だんご



しまやさんの
沢根だんご



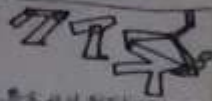
十八世紀～十九世紀にかけて産業革命がおこり近代らしくなったあと使われなくなった建築物のこと。



大島 高任

高任の経歴

明治時代の初め外国人の指導で近代化の道を歩みはじめた佐渡。鉱山はその後、外国で技術を学んだ日本人に引き継がれ、さらに発展していった。その代表的な人物が、東京から各地の鉱山開発にとり組む1885年に佐渡にやってきた大島高任だ。大島は新しい高任を導き、大島を大島と建設しました。



大島高任は、鉱山に関わっていて、色々なことが分かってきた。

感想

大島高任は、大島に関わっていて、色々なことが分かってきた。

感想

金銀山に関わりの深い人物や行事

西洋技術と外国人技術者

ジェームス・スコット (James Scott) 機械工、大島に技術を伝えた。

アレキサンダー・ジョン (Alexander John) 大島に、金銀を採る方法を教えた。

ロバート・ブレイ (Robert Bray) 大島に、金銀を採る方法を教えた。

エラスムス・カワー (Erasmus Cowie) 大島に、金銀を採る方法を教えた。

大島に、金銀を採る方法を教えた。

大島に、金銀を採る方法を教えた。

明治時代に政府が、とり入れていた西洋技術。これらを伝えた外国人技術者4人を紹介します。



ジェームス・スコット (James Scott) 機械工、大島に技術を伝えた。



アレキサンダー・ジョン (Alexander John) 大島に、金銀を採る方法を教えた。



ロバート・ブレイ (Robert Bray) 大島に、金銀を採る方法を教えた。

大島に、金銀を採る方法を教えた。

佐渡金山に伝わる神事芸能『やわらぎ』について

みなさん、やわらぎについて知っていますか？
これから、ご紹介します。
やわらぎは、山の神の心を和らげるとともに、金銀が敵らなくなることを祈り、手塚による採掘が容易、安全に行われ、開採の大盛を願う気持ちがこめられているそうです。



やわらぎの儀式。上の儀式は、人が行います。

観音の像には、くわでかざっている。

佐渡金山〈鉱山祭り〉のよとめ

鉱山祭りは、

佐渡金山は、1877(明治10)年に大島高任が、大島に、金銀を採る方法を教えた。



大島の、大島に、金銀を採る方法を教えた。

佐渡奉行と大久保長安について

(佐渡奉行) 佐渡奉行は、大島に、金銀を採る方法を教えた。



大島に、金銀を採る方法を教えた。

金に関する豆知識

金は食べられるの？

まず、金は実際に食べられるそうです。
ですが「金は体に良いの、悪いの？」と思う
人もいるでしょう。なのでこのことについて
説明しよう！

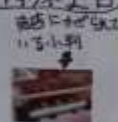
金箔は体によいのか悪いのか？

・高級な料理やお酒に使われる「金箔」
金は、胃液にも溶けないので消化もされず、そのまま排泄さ
れるだけ。つまり、体によも悪くもなく、単に料理の見た目
をよくするだけなのだ!!
存人著

小判の種類

豊臣秀吉の時代に「天正大判」が作られたの
をはじめとして、江戸時代には5種の大判
(唐長、元禄、享保、天保、万組)と10種類の小判(徳長、
元禄宝永、正徳、享保、元文、文政、天保、安政、万組)
が作られました。小判は日常取引に広く使用され
ましたが、大判は、恩賞、献上用などの特殊な目
的に使われました。

小判の種類



18K金と24K金のちがいはなに？

純金アクセサリーは「24K」8K、10Kや合金18金10金
といった表示を見かけますがこれは他の金属との割合等
のこととお入れは「日本純金の規格」の規格によるのは
純度999.9%以上のものは「純金」としてこれを「24K
」といいます。24Kや18K、10Kは金の割合はそれぞれ異なること
になります。
カラットは純度(%)を指しているのではなく、純金100%は
カラットで表わされません。カラットの純度は純度85%の
K18.5のものが使われていることが多くあります。



なお著

金の価値はなに？

ばくはいばい言いました。本当に言いた
んです。でも...金の価値はわくは分かりません。
スミマセンでしたが昔買物などの値段で表すこ
とはできます。それがこちら
長い一本→108文 柿1個→6文
椎茸10個→45文 とうもろこし60本→100文
うず1個→16文 ぶり→8文
ごんにく→8文 酒1升→200文
鮭→250文
この左の計算が5倍の一単位
うすくは自分の価値と
いうことが分かるだろう!!
その昔は金で、いたる所
この金を見て、金で
は、月と日、金で、
では、月と日、金で、

クイズ？

Q1 金にだ液をかけるとうなる？

A. とける B. とけない C. 銀になる

Q2 露頭周知は次のうちどれ？



<答え>

金の重さ

金には色々な形の物があります。
日本での重さは主に7しるい。

1kg・500g・100g・50g・20g・10g・5g

ちなみに...
世界最大の金塊は
底面は約46センチ×約23センチ
高さは17センチで、重さ250kg
だそうです。



はやと著

人々の暮らし

金銀山が栄えるまで、松浦
の人は農業や漁業を中心に
暮らしていた。江戸時代には島

● 慶應一橋大学の院の卒業生が、
この影響によって大に発展した。

健一と上へ

その後の発展地図

全銀7億4千万円

Q1. 2000年代の日本経済
最大の電力需要は、何におよ
びましたか？

Q2. How does the system
work?

12A-30476-0000

江戸時代

地面に埋入している鉄パイプ
石は直接掘りとり、おした(雷線掘り)。地表
から深く掘り下げることで
できなくなる。山の斜面が
トunnelを掘、で地中の
金鉱石を掘り出す坑道掘り
という方法がとられるようになった。また、木材
を組みあわせて坑道内の引き上げ機を油圧式
の山留き支柱で、水上ポンプを用いた排水
水支柱などを活用して、安全に掘り進めた。



クイズ

② 地面に見えぬ
全底面直接掘る。何
何という。

④

職人の技

〔金・石・金・銀〕

◆ 鉱石から金や銀を
と出す技術

[illegible]

2000年12月

全銀 712-11

Q 磁石为什么能止痛

要約すると、それは、

○○法 10034

△ 1990年12月25日，中国第一架自行研制的民用飞机“运五”在南昌首飞成功。

1. 1990年1月1日以前

西洋技術

明治時代になると
鉱石の取出し方も近
代化してきていた。
でもいまいちずう
江戸時代はとんかう
を使。て地道にけり
運る。いばした。が
なんと明治時代で
は西平の技術を取
り入れ。て重く使。て
に変わりました。運搬
取り入れ。金銀生産の



このように、徳川
重宝山味四洋の種
村の生木を売った
した。それを知ると
日本はまだまたお
くれていると云い
思っています。

① 日本製鐵株式會社

この図は、 $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ の和を示している。

2000 00 00 00 00

0.0000000000

7-12

下列各数中，哪些是正数？哪些是负数？

① 8	② -12
③ 0	④ 15
⑤ -3	⑥ 20



大學生



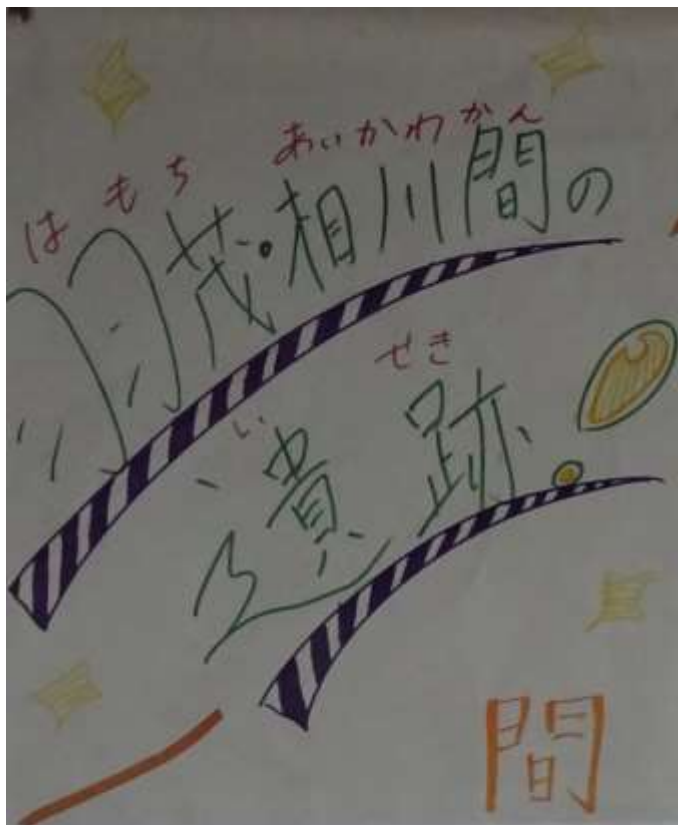
樹叢

[illegible]

金	銀
①80t	①1000t
②50t	②2330t
③78t	③2500t

Q1 クイズ
小判のど
かにある
うけつけ
があります。
ここには

大著



小泊の相川街道

相川街道は村山境から椿尾浜へ南北に小泊を通りぬける。その跡には400年間にわたる「街道大化」が分厚く積もっている。

(ほとんど昔そのまゝの相川街道歩けは農協裏の300メートル程で、他は舗装された町道や夏は歩けなほどの山道になっている。



城著



相川

相川地区の あいかわちく 遺跡

大間港

山崎山
湯釜場



大間港 昭和40年代の風景写真(昭和40年代) 山崎山 湯釜場の風景写真(昭和40年代)



石川神社(昭和40年代) 石川神社(昭和40年代)



石川神社(昭和40年代) 石川神社(昭和40年代)



石川神社(昭和40年代) 石川神社(昭和40年代)



石川神社(昭和40年代) 石川神社(昭和40年代)

金銀山のために、こんなに施設がたくさん作られている事におどろきました。佐渡はそれ程金・銀に頼っているんだなとも思いました。

直己著

江戸の人々のすごさ

★相川では金銀を得るため、当時の最先端技術をとり入れていました。

長さ30cm、太さ4～5cmのくぎのような形の金鉄にかなづちを当てて、ほっていました。この金鉄は、2日で1本なくなるそうです。



水かえ作業

坑道にわたった地下水を氷上車輪を使ってくみ上げていました。

鉱石をほる

相川金銀山の岩はとても硬く1日で数センチしかほれませんでした。

鉱石を運ぶ

「ほりこ」と呼ばれる人達が鉱石を背中にかつき、外に運んでいました。



本間太郎右門さんと松

この本間太郎右門さんは、江戸時代の人でハ幡のためにいろいろなことをしてくれました。たとえば、野菜が海からの潮風でかれないように、海がわに松を植えて、その太郎右門さんのすることを人々は手伝ってきちんと野菜作りができたそうです。

ハ幡の松のやく目

松は金銀山で働く人の食べ物(野菜)などをからす潮風から畑を守るために木直えられました。だから今でも海がわに松がたくさん植えられています。



明治のすごさ

1. 鉱石をほります。
機械やリーベルのはつめいしたダイナモトを使って、どうやうのわりとの下をはくはし、こうせきをほった。

2. トロッコで運ぶ
運ばんもんからトロッコに。一度にたくさんのお金を運べるようにした。



3. 薬品を使って金や銀をとり出す
★さらに細かくすりつぶした鉱石から水銀や泥のカを金銀のつぶをふるき上からせて回収する作業がやわれていた。



4. 島外へ、大間港

鉱石や石炭など運ばんのために建つくられ、荷揚げにはクレーンが使われた。トラス橋では、トロッコを乗り付けて、下にいる舟へ鉱石が落下させた。



★★まとめ★★
このように、明治の人々は、たくさんの機械を作り、かんたんに鉱石をほりだせるように工夫したそうです。
★★★



金銀山のいいところ

工夫しながら、ほっていたり、
人々の苦勞がたくさんあった
ということが分かります。
昔の人のことや機械を使って
いたが、分かりやすく書いて
あります。体験もできます。

このパンフレットを見てくださり
ありがとうございました。
佐渡金銀山のことや、昔の人々の
技術が分かりましたか。
佐渡金銀山には、ほかにも、
色々な技術や道具が今でも、
残っています。ぜひ、佐渡金銀山
に来て、確かめてください。
よろしくお願いします。

水をくみ上げる水車



鉱石を運ぶ人ロック



作成者：佐渡市立八幡小学校 5年生（平成28年度）

住所：〒952-1311 佐渡市八幡2002番地

メール：yahata-es@sado.ed.jp

ご感想等いただけるとありがたいです。

道安子の割戸



佐渡金山のシンボル。
人の手で掘り進めた結果、
深さ74m、幅30mにもなり
山を2つに割ったような姿に
なった。佐渡では、もっとも
大きな露頭堀りの跡です。

ここは、道安
の割戸の真下に
当たります。割戸上
部とつながってあ
り、岩壁を削って
鉱石を落とす
し、人ロックに乗
せて運び出してい
ました。

頂上から鉱脈
が地下まで系売っています。



佐渡金山見学のまとめ

内海府小学校 3年・4年・5年

内海府小学校では、3年生から5年生の児童5名が、佐渡金山について調べたことをパワーポイント、新聞、年表などにまとめて総合学習発表会で保護者に発表した。

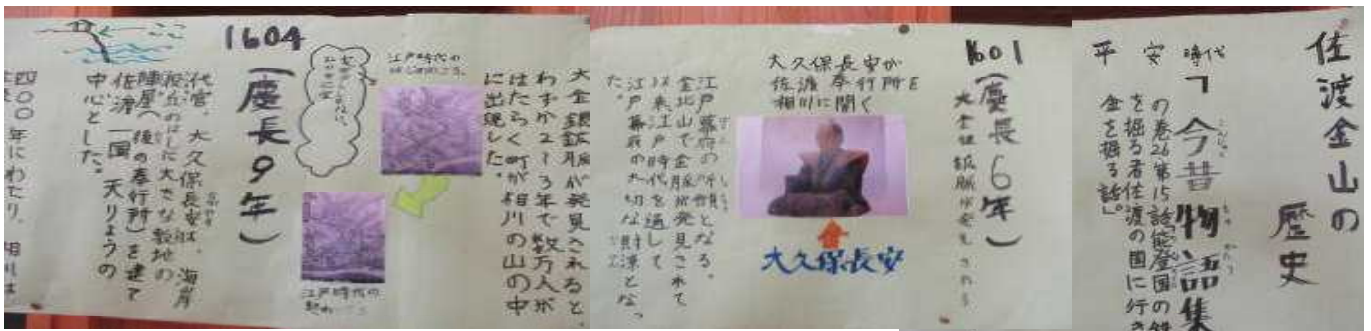
「佐渡金山の歴史」

3年 渡部 庵史

佐渡金山の発見から金の採掘を中止し世界文化遺産への登録を目指す現代までの歴史を中心に年表にまとめた。

《感想・分かったこと》

- 佐渡金山は、400年も前から金を掘っていたことが分かった。
- 相川は金山で大きくなった町ということが分かった。相川だけで5万人も人が住んでいたのはすごいと思った。
- 大久保長安という奉行が権力をもっていたことが分かった。



「佐渡金山で働いていた人々」

4年 多田 穂乃香

佐渡佐渡金山では、どんな人々がどんな道具を使ってどのように金を掘っていたのかを調べ、パワーポイントでまとめて発表した。

《感想・分かったこと》

- 金を方ときには、鉱石を掘る、運ぶ、水をくみ出す、空気を送るなどいろいろな仕事があったことが分かった。
- 電気など無いので全部手作業だが、いろいろな道具を使って金を掘っていたことが分かった。機械のない時代に手作業で金を掘るのはとても大変な仕事だったと思う。
- いろいろな仕事を分担して効率よく仕事をしていたことがわかった。
- 全国の金の半分以上を佐渡で掘り出していたので、佐渡は江戸幕府にとって大切な場所だったことが分かった。





「聞いてびっくり 佐渡金山クイズ」 4年 本間 岬

佐渡金山の見学をきっかけに金に興味を持った。なぜ金が貴重なのか、現在金はどのように使われているのかを調べた。また、北澤浮遊選鉱場など近代遺産についても調べ、それらをクイズにして発表した。

《感想・分かったこと》

○金のかざりだけでなく電気製品などいろいろなところに使われていることが分かった。

○佐渡金山では江戸時代から平成まで400年も金を掘り続けていたことが分かった。佐渡には金がたくさんあったのだなと思った。

○道遊の割戸を見て、昔の人は手堀りでも山を割ってしまうくらいに金を掘り続けたことが分かった。大変だったのだろうと思った。

○観光では佐渡金山に行ったことがあったが、あまり知らなかったが、少し分かってきた。

「佐渡金山の秘密」

5年 北澤 麗花

相川京町の石垣に残っている石臼や北澤浮遊選鉱場など見学をしておもしろいと思ったこと、不思議に思ったことについて調べてクイズにした。

《感想・分かったこと》

○石垣の中に昔の石臼が入っていたことに驚いた。

○北澤浮遊選鉱場は、金の生産量を増やすための新しい技術を取り入れた工場だったことが分かった。

○佐渡金山からは、たくさんの金が発見されていた。それだけ金が必要だったのだと思う。

○佐渡金山には、古い歴史があることが分かった。



「金山豆知識1・2」

5年 渡部 来門

佐渡金山の見学から奉行所の勝場と道遊の割戸について興味をもち新聞にまとめた。

《感想・分かったこと》

○金は山からそのまま出てくるのかと思っていたが奉行所の勝場を見て、金を作るためにはいろいろな加工が必要なのことが分かった。昔の人がこんな複雑な金の作り方を知っていたということに驚いた。

○道遊の割戸の中がどうなっているのかが不思議だった。ありの巣のようになっていて暗くておもしろかったけれど、実際に固い岩を人の手で掘るのは大変なことだと思った。



新穂銀山の秘密

～新穂銀山の始め～

新穂銀山の開発を始めた時代は、正確な記録は無いが、鶴子銀山に遅れて始まったといわれています。佐渡では、鶴子銀山に次ぐ佐渡第2の銀山でした。新穂銀山は、鉱山の採鉱技術の初期の、**露頭掘り**、さらに進んだ、**追い掘り**の跡がほぼ完全な形で残されています。新穂銀山は、鶴子銀山や相川金銀山のように、山全体が固い岩で出来ていて、その中に、金銀を宮む鉱石があるのとは、ちがって粘土の中に石英質が含まれているので落盤しやすいです。

百枚間歩周辺地図

- 遺跡入口
-) 道が広い所
- 道路

のんでけ
キフちのつ
又い落るを!!
タ黒がい
氣て

露頭鉦脈

白い線が見えます!!
石英です!!
この中に黒い物があり
その中に銀が!!

たくさんの
露頭掘りか
見られます
よ!!

百枚間歩

穴かは。きり
見えますよ!!

滝沢銀山
(新穂銀山)
新キャラクター
「銀くん」



新穂銀山のレポート

- ・新穂銀山下では、銀だけではなく、砂金もとれた!?。新穂銀山は、滝沢銀山とも言われる。
- ・室町時代の中頃に発見され江戸時代初期に隆盛を誇った。
- ・銀が、一年間で、五億円だった!
- ・ろう掘りが多く採用された。
- ・ひやくまふぶという穴がある。

↓
この穴が小さくなった。

↓
おち葉が体積したから。

- ・新穂銀山に関する歴史資料は少なく、未解決鉱山と言われている。
- ・旧新穂村には、海が無かった。
- ・りょうふぶという木から、油をとり、それを光りにして、作業をした。
- ・旧新穂村では、鉱山あとがところどころにある。



新穂銀山へ行ったときの感想

昔の新穂から今の新穂までの銀山の歴史を、わかりやすく、知ることができました。

昔の人は、あんな大きい、山をほることが、できてすごいと思いました。

新穂銀山がもっと知られる

ように、新穂銀山の事が新聞、雑誌などにのせられるといいなと思います。

池野 綾夏
山口 晋太

新穂銀山の歴史と新穂銀山の遺跡

歴史

私たちは、11月22日に新穂銀山に行きました。そこで、私たちは新穂の歴史などを教えてもらいました。その中で、私たちがオススメする情報を紹介します。内容は次の2つです。

- ① 新穂銀山の名前の由来
- ② 百枚間歩の名前の由来

まず、①から紹介します。新穂銀山は、銀だけではなく、金も少しとれていましたが、基本的に銀の方が多くとれていたなので、新穂銀山という名前になりました。

「銀黒」とよばれる
シマの中に銀が
含まれています

次は、②を紹介します。1ヶ月ごとに奉行所に銀を100枚おさめていたので、「百枚間歩」という名前になりました。

遺跡

遺跡はいくつかありますが、上に出てきた百枚間歩を紹介します。

★百枚間歩は...
坑道の断面がアーチ状となる古い時代の採掘技術の痕跡が残る坑道掘り跡です。



上にも書いてありますが、名前の由来は、銀百枚を納めたことに由来します。

感想

今回新穂銀山に行ってみて、新穂のことはちゃんと知っているつもりだったけれど、有名な間歩が2つあることなどまだまだ知らないことがあったので、これから新穂のことを調べて良かったです。

「名前 市橋麗乃
金子陽香」



「銀
ぜんおいしやう」

有名な間歩は
百枚間歩をい
ておきます。

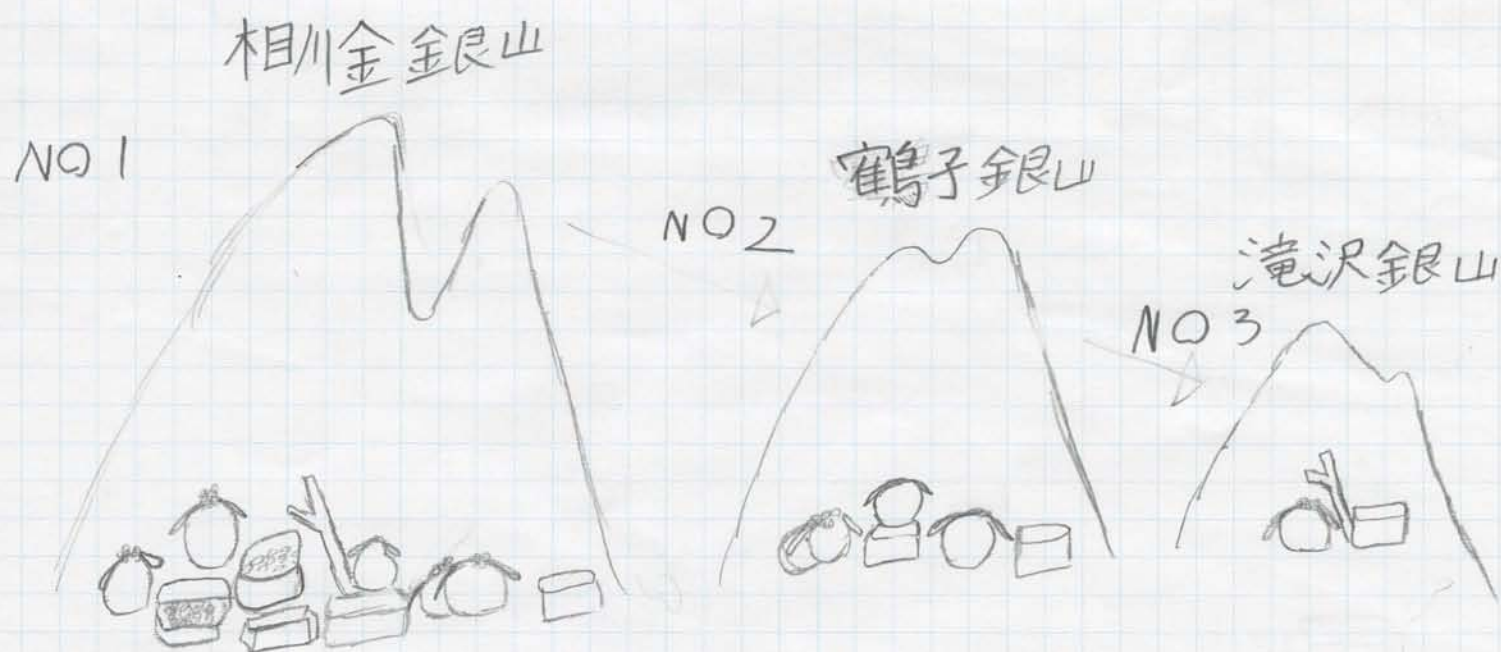
他にも
「露頭掘り」や
「坑道掘り」など
掘り跡なども
あります。

新穂銀山の歴史をみて

まず、戦国時代には新穂の山は銀と砂金の鉱石がよく採掘されました。そして、江戸時代には「滝沢銀山」と呼ばれました。

滝沢銀山は開発を始めた時代は、糸田じい記録がありませんが、鶴子銀山に少しおくれて始まったとされています。1649年にかなりいいかせぎになったのを最後に銀の産出量はだんだん少なくなりました。

滝沢銀山は、相川と鶴子に次ぐ銀の産出をした銀山です。



感想

新穂銀山の歴史が良く分かる機会でした。

土屋翔大

新穂銀山を見学して感じたこと なんだっ

・旧新穂村について

旧新穂村は鉾山あとが5カ所、間歩は29カ所もあります！ちなみに新穂銀山をあわせて佐渡全体で銀は2330t、金は約80tとれました。

・このうちの銀は現在のお金でいうと5億円ぐらいの量がとれました。

鉾物について

・北方城は戦争の城ではなく、鉾物の管理をしていました。

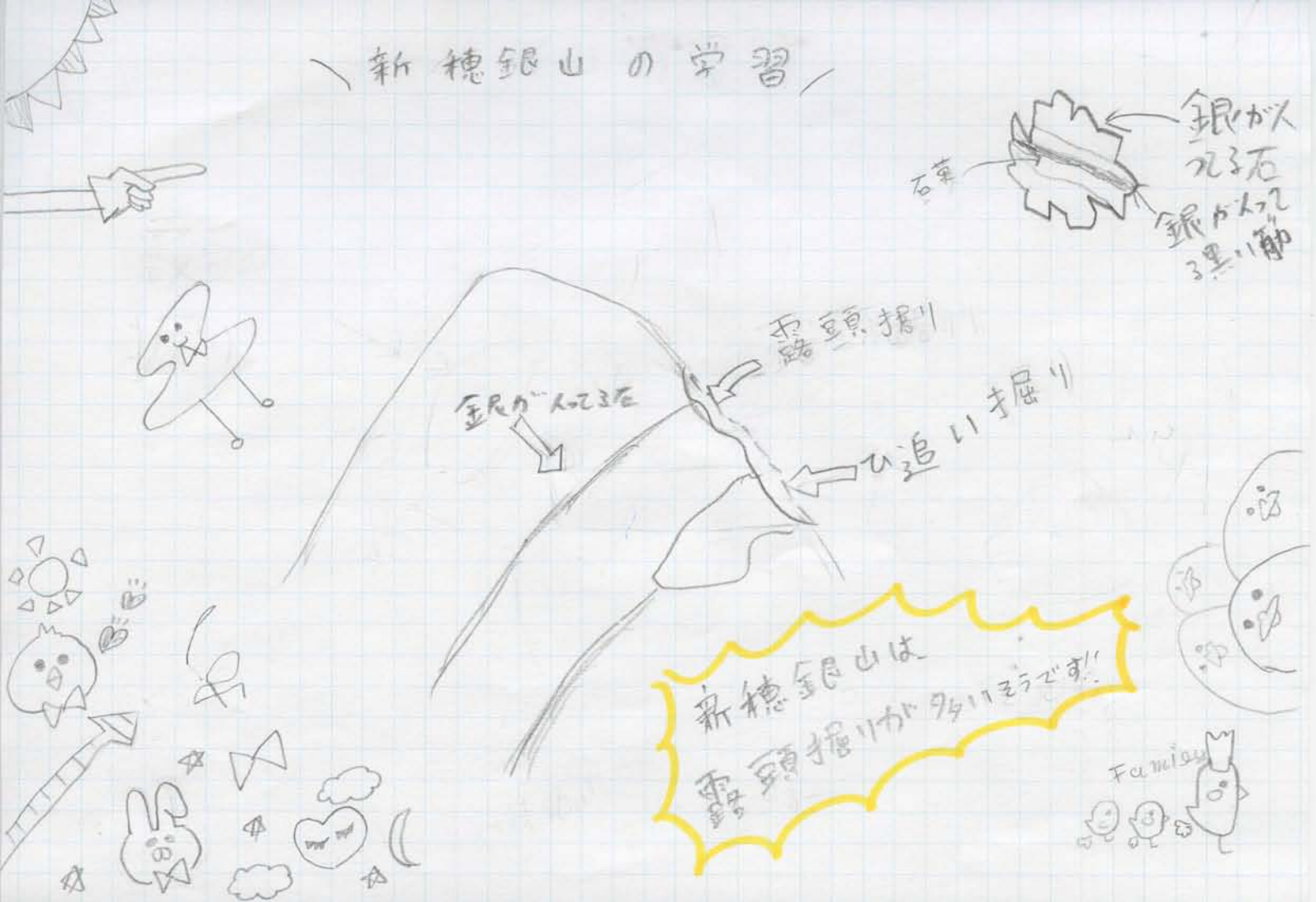
・リョウブという雑木は油がとれてその油をこよりを使って光をつくり、鉾内を掘り進めました。



感想

新穂銀山の事をよく知らなかったけど、ほり方や、金銀の事をよく学びました。 池原 引野 向果

新穂銀山の学習



新穂銀山に行、て学んだことは、新穂銀山の歴史と、実際に行、てみて新穂銀山では、本当に銀がたの石とれたということです。

こんなまじかに銀がたの石がある所があるなんて初めて知りました。

新穂銀山では、キラキラした石がたくさんおちていました。その石の中には、白い石(礫)黒い石(銀がたの石)がありました。

新穂銀山でたの石の事を学びました。

よか、たです。

感想 新穂に住んでいても、これほどの情報は全く知りませんでした。新穂銀山の歴史が知れてよか、たです。またぎかいがあれば新穂銀山に行、てみたいです。森田亜衣&内海健人

新穂銀山を見学して感じたこと。 ～銀のほり方について～

新穂銀山は、土が多くて、ひ追い掘りが少ないです。ひ追い掘りや、坑道掘りをするとうまくずれるので、露頭掘りをして土にうもれないように掘ります。ひ追い掘りと、坑道掘り跡は、43基しかないのに、露頭掘り跡は、991基もあることが確認されています。今でも、露頭掘り跡の周辺を歩いていると、銀のふくまれた石が転がっています。ちなみに、ひ追い掘り跡は、ロボットでたんさくしています。ロボットは、無線では動けなくなるので、有線で動かしているそうです。新穂銀山は、まだすべて調査しきれてないそうです。



ちびまるこちゃん ☒

アンパンマン



☒

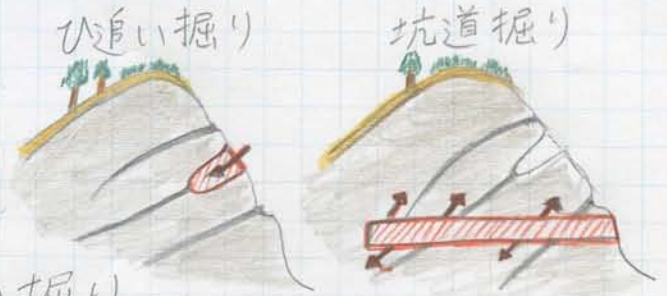
感想

僕は、新穂銀山があることは知りませんでした。この授業で新穂銀山のことを教えてもらって自分でも新穂銀山のことと調たいです。まだ、調査はされていないらしいので、早く調査されて観光客が増えてほしいです。

～相川金銀山と新穂銀山のちがい～

わたしは、今回新穂銀山について学びました。
そこで前に学習した相川金銀山と比べてみました。

採掘方法のちがい



- ・新穂銀山の場合…ひ追ひ掘り
ひ追ひ掘りとは鉱脈に沿って鉱脈だけを掘る方法
※16世紀に開発～昭和18年に閉山
- ・相川金銀山の場合…坑道掘り
坑道掘りとは鉱脈に向かってトンネルを掘る方法
※1601年に開発～平成元年まで採掘

なぜ採掘方法がちがうのか

新穂銀山の鉱脈は、ほかの鉱山と異なり地盤が
やわらかく落盤の危険性があるため坑道掘りには
適しません。しかし、百枚間歩は新穂銀山の中でも
岩盤が硬く、当時の坑道跡もしっかり残っている数
少ないところです。



新穂銀山は、未解明な鉱山で国の史跡指定に向けた
調査が継続中なのでこれからどんな発見がされるの
か楽しみにになりました。

名前 藤田奈々彩

5. 支援・助成事業

【文化財保存継承事業】

佐渡鷺流狂言研究会「後継者育成」

- ・9月11日 能・狂言フェスティバル 佐賀県神崎市で開催

高千中学校「文弥人形保存継承」

- ・文弥人形参加者 18名
- ・7月15日 棚田サミット 高千中学校特別活動室
- ・8月13日 たかち芸能祭 高千中学校グラウンド
- ・8月24日 わたしの主張地区大会 あいかわ開発総合センター
- ・10月23日 文化祭 高千小学校体育館

【伝統文化等保存支援事業】

羽茂高等学校「郷土芸能部」

- ・生徒 30名
- ・7月27日～8月2日
第40回全国高等学校総合文化祭 広島県三原市
- ・8月25日～8月29日
第27回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演 東京都千代田区

佐渡の能を識る会「伝統芸能体験学習」

- ・金井中学校 講義「能・世阿弥・佐渡と能の装束」
- ・能楽4拍子（笛、小鼓、大鼓、太鼓）、謡い、仕舞の体験講座 学生63名
- ・佐渡小中学校教師対象の能楽器指導講座 教師25名
- ・能と人形芝居体験講座 一般16名
- ・島外小学校との郷土芸能交流 島外小学校1校48名参加
- ・能装束着付け講座、小鼓教室

6. 連携事業

【新潟大学人文学部・

佐渡市教育委員会連携協定事業】

シンポジウム

「東アジアにおける古代佐渡－仏教文化とその周辺－」

日時 平成28年11月5日（土）

午後1時～4時45分 基調講演と討論

会場 トキのむら元気館

入場者数 138名

内容

基調講演 佐渡国分寺の造営とその前後－東アジア地域との関係を中心に－

講演者 新潟大学人文学部教授 中林隆之氏

基調講演 平安時代の佐渡の寺社－その背景と諸地域との比較を中心に－

報告者 新潟大学名誉教授 荻美津夫氏

基調講演 文化財からみた古代佐渡の仏教文化

報告者 佐渡市世界遺産推進課文化財室長 野口敏樹氏

討論 中林隆之教授、荻美津夫名誉教授、野口敏樹室長

討論司会 飯島康夫准教授

主催 新潟大学人文学部

共催 佐渡市教育委員会

佐渡学セミナー

第6回「佐渡学セミナー」

日時 平成29年2月4日（土）

午後1時30分～4時45分

会場 トキのむら元気館

入場者数 191名

内容

- ・講演 佐渡島遺跡群からみた東日本弥生社会
の一断面

講演者 新潟大学人文学部助教 齋藤瑞穂氏

- ・講演 順徳天皇と宮廷芸能

報告者 新潟大学人文学部准教授 中本真人氏

主催 佐渡市教育委員会

共催 新潟大学人文学部

今回の佐渡学セミナーは音声を録音した。正式な記録・報告は佐渡学センターにおいて作成し、佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センターが発行する「佐渡学セミナー記録集」等に収録し、刊行される予定である。

表現プロジェクト演習 Q

（佐渡のお祭りに参加しよう！）

日時 平成28年9月12日（月）～15日（木）

会場 赤泊地区

7. イベント（共催事業）

- ・宵乃舞（史跡佐渡奉行所跡）

平成28年6月4日（土）～5日（日）

- ・白山丸まつり（佐渡国小木民俗博物館）

平成28年7月23日（土）～24日（日）

- ・佐渡國相川ひなまつり

茶会（史跡佐渡奉行所跡）

平成29年3月19日（日）

8. 刊行物

- ・佐渡学センター 年報第8号

- ・第5回 佐渡学セミナー記録集

- ・佐渡国小木民俗博物館クイズブック ①／②

（佐渡市小学校教育研究会社会科部 作成）

（75頁に資料を掲載）

V. 関係団体

【佐渡市博物館協議会等】

佐渡市博物館協議会では、「佐渡博物館の活用」について、具体的な基本理念や取り組むべき活用内容を議論した。

第 1 回 佐渡市博物館協議会

平成 28 年 6 月 28 日（火）

協議内容

- ・佐渡市博物館協議会委員の任期満了に伴う委嘱について
- ・平成 27 年度博物館・資料館の事業並びに決算報告について
- ・平成 28 年度博物館・資料館の事業中間報告について
- ・佐渡市博物館活用専門部会に設置について

第 2 回 佐渡市博物館協議会

平成 28 年 11 月 9 日（水）

協議内容

- ・平成 28 年度博物館・資料館の重点事業の進捗状況について
- ・平成 29 年度博物館・資料館の重点事業計画について
- ・平成 28 年度佐渡学推進事業の重点事業の進捗状況について
- ・平成 29 年度佐渡学推進事業の重点事業計画について

VI. 日誌抄

【佐渡博物館】

4月20日 文化の記憶館 作品返却
 25日 国立民族学博物館 館長来館
 27日 NHK取材
 5月2日 ペットボトルアート打ち合わせ
 北見文庫来館
 16日 いわき短期大学 山崎教授来館
 6月24日 電気工事、エレベーターの点検、自販機
 入れ替え作業
 6月27日 美術・工芸展示室展示替えのため閉鎖
 7月1日 ペットボトルアート搬入
 7日 ペットボトルアート展（期間～10/31）
 8日 ペットボトルアートワークショップ開催
 27日 佐和田中学校職場体験 4名
 28日 佐和田中学校職場体験 2名
 29日 佐和田中学校職場体験 4名
 7月31日 ペットボトルアート実演、ワークショップ
 プ
 8月1日 博物館実習 日本大学 8/2まで
 20日 ジオ親子体験学習 会議室使用
 29日 空調修繕
 9月21日 民謡イベント会議
 10月10日 古民家屋根修繕
 11月1日 展示替え
 3日 ペットボトルアート本間氏来館
 6日 新潟県民具学会来館
 9日 消防設備点検
 11日 松前神社三十六歌仙絵馬開催（～1/31）
 15日 電気設備点検
 2月4日 第6回 佐渡学セミナー
 2月19日 八幡 银杏の会よりプランター32個届く
 2月28日 宿根木調査チーム来館
 3月22日 看板設置
 27日 展示替え

【両津郷土博物館】

記録なし

【相川郷土博物館】

4月27日 NHK制作局「高田慎蔵」の資料について
 打合わせ
 5月2日～ 文書館にて資料目録作成
 4日
 5月15日 スポニチ佐渡ロングライド210
 18日 北教育事務所、春日地区の方と下見
 24日 NHK撮影「高田慎蔵」に関する資料
 6月4日 本、鉱石寄贈
 8日 那智熊野曼荼羅絵図の調査
 28日 世界遺産推進課 視察 9名
 観光課 ロケ下見
 7月9日 那智熊野曼荼羅絵図の調査
 8月4日 世界遺産推進課 視察 15名
 18日 NHK撮影
 27日 北沢鼓童イベント 17:00～20:30 開館
 9月15日 文化庁・県文化財政課 視察 9名
 10月14日 「新穂村瀧沢銀山岡山図」NHK撮影のため佐渡博へ
 17日 産業振興課 見学 3名
 25日 世界遺産推進課 視察 18名
 28日 テレビ朝日 館内撮影
 パース大学森山教授 石井文海・夏海の
 資料見に来館
 12月14日 自動火災報知設備 移転工事
 ～15日
 2月20日 トイレ天井、文書館床修繕
 3月1日 雑誌取材
 2日～3日 建物耐震調査
 17日 社会教育課 視察 3名
 18日 はんが甲子園 5名

【史跡佐渡奉行所跡】

4月18日 ～19日勝場ねこ流し用タンク掃除
 5月15日 佐渡ロングライド210
 31日 NHK撮影（プラタモリ） 20名
 6月3日 NHK撮影 3名
 宵の舞（6/3～6 前後準備撤収）
 7日 雑誌取材
 18日 金の道 AM7:20～
 寺社溜着替え場所として提供

28日 菊地設備役所多目的トイレ
女子トイレ中央便座交換

7月12日 FMラジオ（ヤンさん）

15日 ～17日 アンケート調査
（樹空間文化開発機構）

23日 ～24日 鉾山祭
〃 相川中学ボランティアガイド

30日 ～31日 相川中学ボランティアガイド

9月12日 蜂の巣駆除

26日 佐渡民謡の祝祭御白州ステージ仮設営

29日 ～10月1日 民謡の祝祭準備

10月2日 佐渡民謡の祝祭開催

3日 ～4日 民謡の祝祭片付け

6日 御役所正面右側側溝修繕

19日 相川祭り

11月2日 勝場男子トイレ修繕

17日 役所絵巻展示ケースライト修繕

24日 ～25日 勝場タンク掃除
御役所北側壁修繕

1月7日 ねこ流しバルブ漏水 点検作業

11日 読売新聞取材

20日 サドテレビ撮影

2月3日 相川ひな祭りスタンプラリー

2月4日 さどの日キャンペーン

5日 三重テレビ取材

3月16日 松の木処分及び植樹

17日 ～19日 お茶会（淡交会）

【相川技能伝承展示館】

記録なし

【佐渡国小木民俗博物館】

4月4日 海運資料館より雛人形返却

5日 『こまち』撮影取材

10日 選挙の為本館3年教室使用

18日 新潟観光コンベンション協会取材見学

21日 白山丸展示館へDVD用テレビ搬入

24日 友の会草刈り

25日 『ぐるなび』撮影取材
『世界！ニッポン行きたい人応援団』
撮影取材

5月2日 はんざり茶屋使用

11日 体育館コンパネ直し

17日 収蔵品整理方法説明

18日 北陸テレビ撮影取材

19日 収蔵庫確認作業開始

6月9日 LEDの調査

11日 友の会草刈り

14日 松くい虫の松の伐採

17日 工作室屋根修繕

19日 東海大学海洋科学博物館取材見学

20日 火災受信機故障 業者点検作業

27日 館内男子トイレつまり修繕

7月10日 参議院選挙のため本館3年教室使用

16日 火災受信機新品に取り換え
友の会草刈り

20日 船ダンス返却

23日 白山丸まつり 前夜祭

24日 白山丸まつり 本祭り

25日 博物館実習 8/3まで
鼓童関係 はんざり茶屋使用 8/29
まで

8月23日

9月7日 友の会草刈り

27日 NHK撮影取材
『マップルマガジン・新潟佐渡2018』
撮影取材

30日

10月4日 取材

5日 収蔵庫片づけ 10/7まで

11日 収蔵庫片づけ

16日 選挙の為本館3年教室使用

17日 アルソック工事開始

23日 友の会草刈り

31日 前庭砂利運搬

11月28日 甲成建設倉庫工事

12月1日 警備設備運用開始

2月9日 松くい虫の松2本伐採、桜の樹2本伐
採

21日 新館 火焰式土器設置

25日 工作室天井工事

27日 伐採作業

3月3日 月刊 いちこじん撮影取材

16日 『なじらば』撮影取材

【海運資料館】

記録なし

【新穂歴史民俗資料館】

- 4月3日 のろま人形返却
- 7日 青磁小皿、陶器（花瓶）佐渡博へ
- 22日 掛け軸搬入
- 23日 写彩の会作品展準備
- 26日 写彩の会写真展開催
- 5月11日 屋根修理
- 27日 のろま人形上演
- 6月3日 友の会打ち合わせ
- 7日 地域振興課展示品借用
- 13日 のろま人形上演打ち合わせ
- 17日 BSN 撮影
- 21日 のろま絵画展展示作業
- 30日 民俗品借用
- 7月8日 麦僊展打ち合わせ
- 10日 のろま人形絵画展最終日
- 11日 友の会外清掃、草刈り作業
- 12日 のろま人形上演打ち合わせ
- 13日 のろま人形上演打ち合わせ、のろま人形上演会会場作り
- 15日 麦僊展準備、打ち合わせ。
消防設備点検
- 19日 麦僊展準備
- 22日 二十八部衆木像の調査
- 30日 新潟日報 取材
- 8月4日 麦僊展テレビ取材
- 5日 友の会打ち合わせ
- 6日 麦僊展第2期準備
- 7日 麦僊展展示替え
考古資料貸出し
- 10日 展示品返却
- 24日 次回展示打ち合わせ
- 28日 裂織り作品作り講習会
- 29日 デジタルアート展準備
- 9月5日 麦僊展第3期準備
- 11日 デジタルアート展、作品説明会
- 13日 水道点検、日報取材
- 23日 中学校駅伝大会（トイレ借用）
- 25日 停電
- 10月2日 麦僊展、デジタルアート展最終日
- 3日 外掃除、デジタルアート展片付け
- 8日 裂織り展準備
- 9日 夕映え市（無料開放）
- 14日 サドテレビ取材
- 22日 トキツデーウォーク（トイレ借用）

- 31日 裂織り展片付け
- 11月8日 作品返却、借用
- 11日 地区展準備
- 12日 ～13日 地区展（無料開放）
- 29日 友の会会議
- 1月22日 ～26日 二十八部衆撮影
- 2月23日 二十八部衆展準備
- 3月1日 二十八部衆展開催
- 28日 サドテレビ取材

【赤泊郷土資料館】

記録なし

佐渡学センター一年報

第8号（平成28年度版）

編集・発行 佐渡学センター
〒952-1311
新潟県佐渡市八幡 2041 佐渡博物館内
TEL 0259-52-2447

発行年月日 平成29年3月31日
